

第十九條 國債局ニ於テハ第十八條ノ勘定書到達セハ之ヲ預ケ金帳簿ニ照シ相違ナキヤ否ヤヲ在外我公使館又ハ領事館若シクハ貿易事務館ニ通報スヘシ

第二十條 正金銀行ニ於テ第三條ニアル荷爲預券ニ改正セサル以前ノ荷爲替貸金ヲ海外ニ於テ返納スルモノ及ヒ三井物産會社起立工商會社日本商會等へ國債局於テ直接ニ貸シタル荷爲替金(十四年七月以前貸)ヲ返納セシトキニ用ユル證書類ハ從前ノ方法ニ因リ之ヲ取扱フヘシ

但本文返納セシ金員モ第六號勘定帳へ編入スヘシ

右規程ノ制定以後ハ預ケ金少額ノ場所ニ限リ之ヲ公使館領事館へ貯藏シ其多額ナル場所ニ於テハ悉皆之ヲ各外國銀行(大藏省ノ認可)ニ預ケ入タリ後橫濱正金銀行カ海外各所ニ支店出張所ヲ開設スルニ及ヒ此預ケ金ハ之ヲ同行支店出張所ニ移轉セリ元來我政府ノ所有ニ係ル多額ノ金員ヲ外國銀行ニ普通預ケ金トナシタル所以ノモノハ當時海外ニ於テ他ニ確實ノ保管法ナク不得已此方法ニ出タルモノニシテ外國銀行ヲ以テ充分安全ナル保管ノ場所ト認メタルニアラス現ニ世上確實ノ名ヲ博セサル銀行ニシテ鎖店ノ不幸ヲ見ルニ至リシモノアルヲ以テ(英ノオリエント銀行)銀行ノ預ケ先キニ苦慮スルコト少カラサルニ際シ正金銀行ハ其基礎漸ク鞏ク海外ニ於ケル支店出張所ノ業務モ益々整頓スルニ至リ其内部ノ事情モ知悉シ且ツ監督シ易キモノアルヲ以テ多額ノ金員ヲ外國銀行ニ普通預ケトナシ自由ノ使用ヲ許サンヨリハ寧ロ正金銀行ノ支店出張所ニ保護預トナシ使用ヲ許サ、ルノ安全確實ナルニ若カサルヲ發見シ終ニ彼レヨリ引キ出シテ此ニ預ケ換ヲナスニ至リタルモノナリ即チ明治十八年十二月二十四日ヲ以テ英國ニ於ケル收入金ハ

正金銀行倫敦支店ニ預ケ入ルヘキ旨ヲ其本店ニ令達シ之カ手續ヲ定メタリ

橫濱正金銀行龍動支店預ケ金手續

第一條 英國倫敦ニ於テ大藏省へ收入即チ領事館ニ於テ徵收シタル海外荷爲替金逆爲替金輸出米賣却代金其他在米佛領事館ヨリ回送金等ハ橫濱正金銀行倫敦支店へ預ケ入ルセノトス

第二條 橫濱正金銀行倫敦支店ニ於テ前條ノ預ケ金ヲ領收シタルトキハ大藏省ノ預リ金トシ其時々大藏省ニ宛テタル預リ證書ヲ差出スヘシ

第三條 橫濱正金銀行ハ第一條預ケ金ノ保證トシテ確實ナル抵當品ヲ大藏省ニ差出シ置クヘシ

但本條抵當品ノ種類價格及ヒ員額等ハ別段ノ達ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 第一條ノ預ケ金ハ大藏省ノ都合ニ依リ橫濱正金銀行倫敦支店ヲシテ確實ナル外國銀行へ有利預ケ金トナサシムルコトアルヘシ

第五條 第一條ノ預ケ金ハ無利息トス尤モ第四條ノ場合ニ於テ外國銀行へ有利預金ヲナセシトキハ其利子ハ大藏省へ上納スヘシ

第六條 倫敦ニ於テ銀塊又ハ爲替券ヲ購入シテ本邦へ回送ヲ要スルトキ若シクハ他ニ支拂フヘキトキハ大藏省ヨリ橫濱正金銀行ニ命令シ倫敦支店へ通報セシメ購入又ハ支拂ヲナサシムヘシ尤モ本條ニ係ル通報料ハ實費ヲ以テ大藏省ヨリ下渡スヘシ
但本條銀塊又ハ爲替券ヲ購入スルトキハ大藏省ヨリ在倫敦領事館へモ通報シテ之ヲ監査

第七條 橫濱正金銀行倫敦支店ハ毎月第一條預ケ金ノ實際收支勘定書ヲ作り大藏省へ差出スヘシ

第八條 第二條ノ預リ證書第七條ノ勘定書其他橫濱正金銀行倫敦支店ヨリ大藏省へ差出スヘキモノハ都テ在龍動我領事館ヲ經由スヘシ

第九條 在倫敦領事館ニ於テハ時々橫濱正金銀行倫敦支店金錢ノ出納並ニ帳簿ヲ検査スヘシ

第十條 第一條預ケ金ニ損害ヲ生シタルトキハ何等ノ事由アリト雖モ橫濱正金銀行ハ大藏省ニ對シ辨償ノ責ニ任スヘシ

第十一條 第一條ノ預ケ金ハ大藏省ソ都合ニ因リ停止又ハ廢止スルコトアルヘシ
次テ明治十九年四月二日右倫敦支店預金手續中改正ヲ爲シ左ノ如ク達セリ

橫濱正金銀行

明治十八年十二月二十四日付ヲ以テ相達置候其銀行倫敦支店預ケ金手續第六條左ノ通更正候條此旨相達候事

明治十九年四月二日

大藏大臣伯爵 松 方 正 義

第六條 預ケ金ノ内支拂ヲ要スルトキハ左ノ條項ニ據ルヘシ

第一 銀塊又ハ爲替券ヲ購入スルトキハ大藏省ヨリ在倫敦領事ヲ經テ橫濱正金銀行倫敦支店へ命令シ購入ナサシム

第二 各處爲替拂又ハ他ニ支拂ヲ要スルトキハ出納局ヨリ橫濱正金銀行倫敦支店へ宛テタ

ル爲替券ヲ調製シ第一二券ハ之ヲ請求者ニ交付シ案内券ハ龍動領事ヲ經テ橫濱正金銀行支店へ送付スヘシ

但電信爲替拂ヲ要スルトキハ出納局ヨリ暗號ヲ以テ領事へ發信スヘキニ付倫敦該支店ニ於テハ領事ノ指揮ヲ受ケ其支拂ヲナスヘシ此場合ニ於テハ本條ノ爲替券ヲ次回ノ郵便ヲ以テ送付スヘシ

第三 倫敦領事ニ於テ荷爲替事務ニ關スル雜費ノ郵便電信料等ノ如キ支拂ヲ要スルトキハ領事ノ請求ヲ受ケ之ヲ支拂フヘシ

尋テ同十九年五月二十四日ヲ以テ佛國ニ於ケル收入金ハ里昂出張所ニ預ケ入ルヘキコトヲ令達シ之カ手續ヲ定メ且ツ監督方ニ付在里昂領事ニ通達セリ即チ左ノ如シ

橫濱正金銀行里昂出張所預ケ金手續

第一條 佛國里昂ニ於テ大藏省へ收入(即領事館於テ徵收)シタル海外荷爲替金逆爲替金等ハ都テ橫濱正金銀行里昂出張所へ預ケ入ルヘシ
但無利息トス

第二條 橫濱正金銀行里昂出張所ニ於テ前條ノ預ケ金ヲ領收シタル時ハ大藏省ノ預リ金トシ其時々大藏省ニ宛テタル預リ證書ヲ差出スヘシ

第三條 橫濱正金銀行ハ第一條預リ金ノ保證トシテ確實ナル抵當品ヲ大藏省ニ差出シ置クヘシ

但本條抵當品ノ種類價格及ヒ員額等ハ別段ノ達ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 第一條ノ預ケ金ハ橫濱正金銀行里昂出張所ヲシテ確實ナル外國銀行へ預ケ金トナサシム

但本條外國銀行ハ橫濱正金銀行ニ於テ選定シ大藏省ノ認可ヲ受ケ置クヘシ

第五條 預ケ金ノ支拂方ハ左ノ條項ニ據ルヘシ

一 預ケ金在高ハ漸次倫敦へ回送スルモノナルニ付橫濱正金銀行里昂出張所ハ其時々領事ノ指揮ヲ承ケテ其取扱ヲナスヘシ

二 各官廳等爲替拂ノ爲メ支出ヲ要スルトキハ出納局ヨリ橫濱正金銀行里昂出張所ニ宛テタル爲替券ヲ調製シテ其本券ハ支拂金受取主ニ交付シ案内券ハ里昂領事館ヲ經テ同出張所ニ送付スルモノトス

但電信爲換ヲ以テ仕拂ヲ要スルトキハ大藏省ヨリ領事館へ電報ヲ發送スルニヨリ同出張所ハ領事ノ指揮ニ隨ヒ其支拂ヲナスヘシ尤モ此場合ニ於テハ其爲換券ヲ次回ノ郵便ヲ以テ送付スヘシ

三 里昂領事館ニテ荷爲替事務ニ關シ雜費郵便電信料ノ類ノ支拂ヲ要スルトキ橫濱正金銀行里昂出張所ハ領事ノ請求ニ依リ直チニ之ヲ支出スヘシ

四 明治十八年二月二十一日第二百九十九號橫濱正金銀行へノ指令第三項ノ場合ニ於テハ同銀行里昂出張所ヨリ該手形ヲ領事へ差出シ其認可ヲ經テ後チ支拂ヲナスコトヲ得ヘシ

第六條 橫濱正金銀行里昂出張所ハ毎月第一條ノ預リ金實際收支勘定書ヲ作り大藏省へ差出

スヘシ

第七條 第二條ノ預リ證書第六條ノ勘定書其他橫濱正金銀行里昂出張所ヨリ大藏省へ差出スヘキモノハ都テ在里昂我領事館ヲ經由スヘシ

第八條 在里昂領事館ニ於テハ時々橫濱正金銀行里昂出張所金銀ノ出納竝ニ帳簿ヲ検査スヘシ

第九條 第一條預ケ金ニ損害ヲ生シタルトキハ何等ノ事由アリト雖モ橫濱正金銀行ハ大藏省ニ對シ辨償ノ責ニ任スヘシ

第十條 第一條ノ預ケ金ハ大藏省ノ都合ニヨリ停止又ハ廢止スルコトアルヘシ
又同年十一月八日ヲ以テ米國ニ於ケル收入金ハ其紐育出張所ニ預ケ入ルヘキコトヲ令達シ之カ手續ヲ定メ且ツ其監督方ニ付キ在紐育領事へ通達セリ左ノ如シ

橫濱正金銀行紐育出張所預ケ金手續

第一條 米國紐育府ニ於テ大藏省へ收入(即チ領事館於テ徵收)シタル海外荷爲替金逆爲替金等ハ都テ橫濱正金銀行紐育出張所ニ於テ之ヲ預カルモノトス

第二條 橫濱正金銀行紐育出張所ニ於テ前條ノ預金ヲ領收シタルトキハ大藏省ノ預リ金トナシ其時々大藏省ニ宛テタル預リ證書ヲ差出スヘシ

第三條 橫濱正金銀行ハ第一條預リ金ノ保證トシテ確實ナル抵當品ヲ大藏省ニ差出シ置クヘシ
但本條抵當品ノ種類價格及ヒ員額等ハ別段ノ達ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 第一條ノ預金ハ無利息トス最モ大藏省ノ都合ニ因リ橫濱正金銀行紐育出張所ヲシテ確實ナル外國銀行ヘ有利預ケ金トナサシムルコトアルヘシ此場合ニ於テ利子金額ハ大藏省ニ上納スヘシ

但本條預ケ金ヲナスヘキ外國銀行ハ橫濱正金銀行ニ於テ之ヲ選定シ豫テ大藏省ノ認可ヲ受ケ置クヘシ

第五條 預ケ金ノ仕拂方ハ左ノ各項ニ據ルヘシ

一 銀塊ヲ購入シテ本邦ヘ回送ヲ要スルトキ又ハ爲替ヲ以テ倫敦等ヘ回金ヲ要スルトアルトキハ大藏省ヨリ在紐育領事ヲ經テ橫濱正金銀行出張所ニ命令シ其取扱ヲ爲サシム

二 各官廳等爲替拂ノ爲メ支拂ヲ要スルトキハ大藏省出張局ヨリ橫濱正金銀行紐育出張所ニ宛テタル爲替券ヲ調製シテ其本券ハ支拂金受取主ニ交付シ案内券ハ在紐育領事ヲ經テ該出張所ニ送付ス

又電信爲替ヲ以テ支拂ヲ要スルトアルトキハ大藏省ヨリ領事ヘ宛テ電報ヲ發送スルニ依リ該出張所ハ領事ノ指揮ニ隨ヒ其支拂ヲ爲スヘシ尤モ此場合ニ於テハ其支拂金額ニ對スル爲替券ヲ次便ニテ郵送スルモノトス

三 紐育領事館ニテ荷爲替等ノ事務ニ關シ雜費ノ支拂ヲ要スルトキハ橫濱正金銀行紐育出張所領事ノ請求ニ依リ直チニ之ヲ支出スヘシ

第六條 橫濱正金銀行紐育出張所ハ毎月第一條ノ預リ金實際收支勘定書ヲ作り大藏省ヘ差出

スヘシ

第七條 第二條ノ預リ證書第六條ノ勘定書其他橫濱正金銀行紐育出張所ヨリ大藏省ヘ差出スヘキモノハ都テ在紐育領事館ヲ經由スヘシ

第八條 橫濱正金銀行紐育出張所金錢ノ出納及ヒ其帳簿ハ時々在紐育我領事館ノ検査ヲ受クヘシ

第九條 第一條ノ預金ニ損害ヲ生シタルトキハ何等ノ事由アリト雖モ橫濱正金銀行ハ大藏省ニ對シ辨償ノ責ニ任スヘシ

第十條 第一條ノ預ケ金ハ大藏省ノ都合ニヨリ停止又ハ廢止スルコトアルヘシ

是ニ於テ乎英佛米ノ外他ノ公使館領事館ニ於テ直接ニ保管シタル預ケ金モ清國及朝鮮ヲ除キ同十九年以降漸次正金銀行支店出張所ニ預ケ換テ了シタリ而シテ其預入手續ハ何レモ前掲英米ノモノト大同小異ニシテ要スルニ無利息保護預ナルコト(此預ケ金ハ元來本文ノ如ク保護預トシテ合算ニ於テハ正金銀行支店出張所ヨリ領事ヘ届出テ其許可ヲ得テ其員額ノ使用ヲ許サシムルナリトシテ)ノ科目ヨリ使用ヲ許シタル預ケ金ノ科目ハ普通通ノ利子ヲ返納ノ節戻シ入レノ順序ヲナサシムル預ケ金ヲ許シタルカ如シ)大藏省ノ都合ニ依リテハ更ニ確實ナル外國銀行ヘ利付預ケ金トナサシムヘキコト預ケ金ニ對シテハ確實ナル保證品ヲ差出シ置クヘキコト等ニシテ此預ケ換ト共ニ大藏省ハ各地領事ニ委託シテ時々支店出張所ニ臨ミ右預ケ金ノ出納現金及ヒ帳簿等ノ整頓セルヤ否ヤ銀行規定業務ノ外危險ノ業ニ從事セサルヤ否ヤ等ヲ検査セシムルコト、セリ

新ノ如クニシテ預ケ入レタル海外收入金ハ本款ノ初ニ記載シタル如ク海外荷爲替法ノ旨趣ニ依

リ之ヲ以テ外國債ノ元利支拂金又ハ軍艦ノ購入代其他各廳經費金ニ充用シ尙ホ時價ヲ酌量シテ外國市場ノ金銀地金ヲ購收シ又ハ爲替ヲ以テ本邦ニ回金シタル等明治二十三年三月迄ニ悉皆其計算ヲ結了シタリ尙ホ海外預金ニ關スル詳細ハ準備金ノ部ニ讓ル

抑モ外國爲替ノ事業タル貿易上財政上至大ノ關係ヲ有スルモノナリト雖モ從來同事業ハ殆ント外國銀行ノ掌握スル所トナリ我國銀行中一モ之ニ從事スルモノナシ然リ而シテ正金銀行ハ創立以來其術ニ當リ經營十餘年ヲ累ネ漸ク信譽ヲ海外ニ博シ遂ニ外國爲替ノ業ヲ擧ケテ殆ント之ヲ其掌裡ニ收攬スルニ至レリ其然ルヲ致セル所以ノモノハ同行ノ斡旋措辨其宜シキヲ得タルニ由ルト雖モ亦準備金部海外荷爲替資本預金ノ委託アリシニ職由セスンハアラス而シテ其取扱ヲ正金銀行ニ命シタルハ明治十三年九月十八日ニシテ爾來取扱年限ニ就テハ未タ確定セルモノナカリシカ明治十六年五月十六日大藏卿ハ太政官へ稟議シ同年六月二十九日ヲ以テ外國爲替金貸出方取扱ハ明治十六年七月ヨリ明治十九年六月マテ滿三箇年間に定メ大藏省及ヒ正金銀行ノ都合ニ由リテハ期限内ト雖モ其取扱ヲ廢シ又ハ期限ニ至リ猶之ヲ繼續スルコトアルヘキ旨ヲ本行へ令達シ且ツ之ヲ駐外領事へ通達セリ

是ニ於テ外國爲替金貸出方取扱ノ期限ハ明治十九年六月三十日ヲ以テ滿了スルコト、ナリシカ明治十九年一月二十日正金銀行ハ右期限後更ニ五箇年間繼續ノ儀ヲ大藏省ニ情願シ同月二十五日ヲ以テ更ニ明治二十二年三月三十一日マテ繼續ノ允許ヲ得タリ

去ル明治十六年六月二十九日付御達ヲ以テ當行御用外國爲替金貸出方取扱ノ期限明治十六年七月ヨリ明治十九年六月迄滿三箇年間に御定メ相成居候處當行外國爲替ノ事業ハ御承知モ被

爲在候通日ヲ追テ隆盛ニ赴キ先年外國人荷爲替ノ取組ヲ相開候テ以來當行爲替取組高頗ル巨額ニ上リ當行輸出生絲荷爲替ノ如キ其總額凡ソ四分ノ三ハ當銀行ニ歸シ候様相成既ニ昨明治十八年中内外人ニ對シ取組候爲替ノ總高此内凡ソ十分ノ二茶雜貨ノ爲替ヲ含ムハ九百六十萬圓餘(内國人百八十萬圓餘)ノ多キニ至リ且ツ其運轉モ甚タ活潑ニシテ常ニ爲替期限前ニ入金相成又其取引確實ニシテ是迄當行損失ヲ蒙リタルコト無之候且ツ又當今ニ至リテハ廣ク内外官民ノ外國通常爲替ヲ取扱ヒ歐米各地殆ント當銀行爲替手形ノ至ラサル所無之候へ共各地ト差支ナク流通シ甲乙轉傳ノ後始メテ當行海外支店又ハ出張所ニ於テ仕拂ヒ候ヲ例トスル事ニ有之候右ノ如ク當行外國爲替ノ事業ハ日ヲ追フテ相進ミ候ニ付隨テ當行ニ對スル内外人ノ信用モ日々益々相加ハリ今日ニ於テハ本港爲替ノ權ハ殆ント當行ニ歸セントスルノ有様ニ有之今尙ホ之カ擴張ヲ謀リ罷在候へハ早晚全ク其權ヲ握リ本邦内外貿易上ノ一大幫助ト相成可申然ルトキハ獨リ本行ノ素望ヲ達スルノミナラス實ニ我國理財上ノ一大機關トモ相成可申ト相信シ日夜勉勵茲ニ從事罷在候儀ニ候へハ右ノ事情御亮察本年六月ノ期限後更ニ五箇年間御用爲替貸出方取扱繼續ノ儀御允許被成下度此段奉願候也

明治十九年一月二十二日

頭取

大藏大臣松方正義殿

原

六郎

(右指令)

外國爲替取扱方延期願ノ趣明治十九年七月ヨリ同二十二年三月三十一日マテノ間繼續取扱開

屆候事

但當省ノ都合ヲ以テ右期限内ニ取扱方停止スルコトアリ又期限ニ至リ更ニ繼續セシムルコトアルヘシ

明治十九年一月二十五日

大藏大臣伯爵 松方正義

然ルニ明治二十二年二月會計法ノ公布アリ尋テ外國爲替金ヲ準備金ヨリ支出スルコトヲ止メシヲ以テ正金銀行ハ頓ニ其財源ヲ失フニ至レリ然レトモ年來發達ノ運ニ向ヒタル海外爲替事業ヲシテ一朝挫折セシムルハ獨リ一銀行ノ榮枯ニ止ラス其影響延テ我國經濟上ニ及フモノ極メテ大ナルヘキヲ以テ政府ハ日本銀行ヲシテ橫濱正金銀行ト特約ヲ結ビ外國爲替手形再割引ノ便ヲ開カシメ而シテ爲替ノ事業ハ依然正金銀行ヲシテ其衝ニ當ラシムルコト、セリ

第二款 政府預ケ金及貸下金

政府ノ預ケ金及ヒ貸下金ニ付テハ外國爲替爲替事業ニ關聯シテ前款ニ於テ敘述スル所アリシモ其他猶ホ政府ノ預金貸下金ニ屬スルモノ尠カラズ即チ此種ニ屬スル預金ハ正金銀行カ御用預金御用假預金御用別途預金御用當座預金御用振出手形等ノ科目ヲ以テ記帳セルモノニシテ其政府預ケ入ノ目的亦一ナラス或ハ保護預ノ目的ニ出テタルモノアリ或ハ貸出資金貸與ノ目的ニ出テタルモノアリ或ハ正貨購收舊金銀交換基金トシテ又或ハ政府ノ財政上正金銀行營業上ノ都合ニ依リ預ケ入レタルモノアリ而シテ其出納整理ニ際シテハ必シモ其目的ニヨリ分類記帳セス一

科目中往々異種ノ預金ヲ混入シ初メハ此科目ニ屬シ後ニ於テ他ノ科目ニ移シタルモノアリ其預入ノ金高月日目的等個々ノ事歴ハ今之ヲ追尋シ難キモノ尠ナカラズ故ニ本款ニ於テハ其稱明瞭ナルモノ數項ヲ敘述スルニ止メ其出納ノ狀況ニ至リテハ後段ニ於テ表ヲ以テ之ヲ示スヘシ
明治十三年四月二十七日ヲ以テ大藏省ハ初メテ正金銀行へ銀貨六拾參萬圓ヲ假預ケトシテ預入セリ抑モ假預金ハ管理官ノ命ヲ受ケ銀貨買入若シクハ臨時貸付等ニ使用セシムル爲ニ預ケ入レタルモノニシテ平常準備ヲ要セサルカ故ニ假ノ字ヲ附シテ御用預金ト區別セルモノナリ今其貸出方法ニ付テ同管理長ノ指揮セル所ヲ擧クレハ即チ左ノ如シ

今般橫濱取引所停止ニ付貿易上實地銀貨ノ需用ニ差支へ困難スル者有之哉モ難測ニ付之ヲ濟救スル爲メ左ノ條々ニ照シ貸出金可取計候事

- 一 貸出金ノ總額ハ現今大藏省ヨリ預ケ置キタル員額ニ超エサルヲ目的トシ且ツ其期限ハ長クトモ三箇月ヲ踰ユヘカラス
- 一 此貸出金ハ紙幣ヲ抵當トスルヲ得ヘシ而シテ其價格ハ時價ヨリ貳錢乃至參錢落チノ割合ヲ以テスヘシ尤モ漸時低落シ壹圓五拾錢以下ニ至ルコトアレハ更ニ指揮スルコトアルヘシ
- 一 但要求人ノ多寡ニ因リ斟酌スヘキハ勿論ニ付若シ要求人寡ケレハ時々刻々ニ其割合ヲ引下クヘシ尤モ要求人多クトモ最初貸出シタル割合ヨリ決シテ引上クヘカラス
- 一 此貸出金ノ利息ハ年壹割貳分(即チ日歩貳厘)ヨリ超ユヘカラス尤モ要求人ノ多寡ニ應シ其割合ヲ斟酌スルハ前條但書ノ旨趣ニ準スヘシ

一 抵當ノ紙幣ハ銀貨騰昇スルトモ決シテ之ヲ追増スルヲ要セス然レトモ其低落スルニ當テハ其時價相當マテハ之ヲ減少スルヲ得ヘシ

一 前條ニ準シテ貸出シタル上若シ損失等ヲ生スルコトアレハ其損失ハ悉皆大藏省ニ於テ之ヲ負擔スヘシ

右及指揮候也

明治十三年四月二十七日

橫濱正金銀行管理長

大藏少輔 吉原重俊

橫濱正金銀行頭取

中村道太殿

當時貿易市場ハ大ニ銀貨ノ缺乏ニ苦ムノ狀況アルヲ以テ政府ハ救濟ノ爲メ右ノ如ク一時銀貨ヲ預入シテ同行ヲシテ之カ貸出ヲ爲サシメタルモ此ノ如キハ正貨回收ノ目的ト相容レサルモノアルヲ以テ同年五月五日ニ至リ右銀貨假預ノ件ヲ廢止セリ而シテ同月十八日正金銀行ハ今後大藏省ヨリ下付セラレヘキ差加金(銀貨四拾萬圓紙幣五拾萬圓ニ當ル)ヲ繰上ケ紙幣ヲ以テ貸下ケアラシムコトヲ上請シ其二十四日認可ヲ得尋テ之ヲ假預クトシテ預入アリシコトハ既ニ前款ニ於テ敘述セル所ナリ

明治十五年十二月政府ハ紙幣拾七萬圓ヲ正金銀行ヘ預入セリ蓋シ是レ先キニ朝鮮政府ヨリ該金額ヲ貸與セラレ度キ旨正金銀行ニ依頼シ來リシニ同行ニ於テハ會應スヘキ餘資ナキヲ以テ狀ヲ具シテ政府ニ貸下方ヲ上願セシニ由ルモノニシテ其詳細ハ之ヲ左ノ文書ニ載シテ明ナルヘシ

今般朝鮮國政府ヨリ金拾七萬圓本行ヨリ借用致度旨依頼ニ付右依頼ニ應シ速ニ調達仕度奉存候處目下金融逼迫ノ折柄本行ニ於テモ差當リ餘資ニ乏シク甚困却仕候間右金額何卒特別ノ御詮議ヲ以テ御省ヨリ本行ヘ御貸下被成下度返納ノ儀ハ當明治十五年ヨリ二箇年間据置來ル十八年ヨリ向拾箇年賦ヲ以テ該政府ヨリ取立次第上納可仕又利子ハ年四分ノ割合ヲ以テ來ル十六年ヨリ每年十二月三十一日迄ニ其年ノ現拜借高ニ對シ該政府ヨリ取立次第上納可仕候尤モ昨年來外國國情少シク穩カナラサルヤノ風聞モ有之候得者右ノ元利金拂入方ノ儀ニ於テモ或ハ遲滯等ヲ生スヘキヤモ難計萬一右様ノ場合ニ於テハ臨時具狀ノ上何分ノ御指揮可奉仰候此段奉願候也

明治十五年十二月

橫濱正金銀行取締役

小泉信吉

同頭取

小野光景

大藏卿 松方正義殿

朝鮮國政府ヘ貸付金取扱方内規約

今般本行ニ於テ朝鮮國政府ヘ金拾七萬圓貸付ノ爲メ大藏省ヨリ同金額本行ヘ御貸下ケ相成候ニ就テハ右貸付金ニ係ル諸事左ノ内規約ニ從ヒ取扱可申候

第一條 此貸付金ハ當明治十五年ヨリ二箇年間据置キ來ル十八年ヨリ向フ十箇年間ヲ以テ朝

鮮政府ヨリ取立テ其都度大藏省へ上納シ又此貸付金ニ對スル利息ハ來ル十六年ヨリ毎年十二月三十一日迄其年ノ現貸付元金ニ對シ年八分ノ割合ヲ以テ朝鮮政府ヨリ取立ツル事
但毎年元利金返還高ハ別紙明細表ニ詳カニス

第二條 前條取立タル利金ノ内元金ニ對シ年四分ノ割合ハ其都度大藏省へ上納シ同壹分ノ割合ハ右貸付金取扱方手数料トシテ本行へ下付セラレ又残り同三分ノ割合ハ別途費準備トシテ之ヲ本行ニ積置キ隨時外務大藏兩卿ノ御指揮ヲ俟テ之ヲ支拂フヘキ事
但毎年利金ノ仕別ケハ別紙明細表ニ詳カニス

第三條 此貸付金ニ係ル事務ヲ處辨セシムルカ爲メ本行ヨリ特ニ役員ヲ朝鮮國へ出張セシムヘキ事
但出張員ハ本行ニ於テ人選ノ上右兩卿ノ允許ヲ經ヘキ事又右出張ノ費用ハ前條別途費準備積立金ヨリ之ヲ支出スヘキ事

第四條 右兩卿ニ於テ此貸付金ノ件ニ付臨時役員ノ派出ヲ本行へ命スルコトアルヘキ事
但本文ノ場合ニ於テ出張員人選並ニ出張費支出方ハ前條ニ據ルヘキ事

第五條 本行ニ於テ朝鮮政府ヨリ元利金取立方ニ付テハ其都度外務大藏兩卿ノ御内意ヲ奉シ緩急延期等時宜ニ應スルノ處分可致事
右ノ條々遵守可仕候也

橫濱正金銀行取締役

小 泉 信 吉

明治十五年十二月

同 頭 取

小 野 光 景

外務卿 井上 馨殿
大藏卿 松方正義殿

聖明治十六年六月十三日正金銀行ハ朝鮮政府ノ請ニヨリ紙幣拾七萬圓ハ之ヲ當時ノ相場ニテ銀貨ニ換算シ銀貨拾貳萬五百圓ニ更メラレシコトヲ上請シ大藏省ハ同月二十三日ヲ以テ之ヲ認可シ從來預入ノ名目ヲ以テセルヲ貸下ニ改メタリ次テ同年八月國庫現在金ノ内銀貨ノ貯藏漸次巨額ニ達シ金庫充實セルニヨリ收支ノ便宜ヲ計リ政府ハ漸次大阪ヨリ回送スル所ノ壹圓銀貳百五十拾萬圓迄ノ高ヲ限リ正金銀行へ封緘ノ儘保護預ケト爲スコトニ議決シ太政官ニ上申ノ上之ヲ實行セリ

第三款 外國公債元利拂取扱

橫濱正金銀行ハ明治十六年ノ改革以來業務大ニ伸張シ外國爲替ノ事業ハ漸ク旺盛ニ嚮ヒ同十七年九月英國倫敦出張所ヲ改メテ支店トナスノ許可ヲ得其十二月一日ヲ以テ開店セシカ是ヨリ先キ同年五月三十一日正金銀行ハ從來政府カ東洋銀行ニ命シテ取扱ハシメタル外國公債元利支拂ノ事務ハ擧テ之ヲ新ニ開店セラルヘキ倫敦支店ニ命セラレシコトヲ出願シ大藏卿ハ太政官ハ稟議ノ上八月十一日ヲ以テ之ヲ認許セリ尋テ事務取扱ニ關スル任命書條款ヲ定メ其取扱ヲ命シ且ツ其旨ヲ太政官へ上申セリ爾來同支店ハ左ノ條款ニ準據シテ事業ニ從ヘリ

我外國公債元利拂渡方取扱人倫敦東洋銀行儀先般破産致候ニ付今般橫濱正金銀行ヨリ右公債ノ元利支拂取扱方ノ任命相蒙リ度旨別紙ノ通願出候ニ付審案候處前件公債元利支拂方ハ既ニ切迫候ニ付先般上申致シ候通り本年七月一日拂ノ分ノミ差向倫敦合本銀行ヘ委託爲取扱候得共尙ホ將來ヲ勘考候處右等ノ取扱方ハ外國銀行ニ爲取扱候ヨリハ我國銀行ニ任命致候方百事好都合ニ可有之而シテ橫濱正金銀行儀ハ其業務近時頗ル整頓シ加ルニ倫敦ニ出張員ヲ置キ海外荷爲替ノ事務ヲ取扱候間該地ノ事情ニモ通曉致シ且ツ當省ヨリ常ニ取締役ヲ差入レ行務ニ參與監督セシメ置候間頗ル安全ノ儀ト存候又雷ニ安全ノミナラス目下彼我貿易ノ擴張ヲ務メサルヘカラサルニ當リ同銀行ヲシテ該地ニ支店ヲ置カシメ前件公債元金抽籤方及ヒ元利拂渡ノ取扱ハ勿論我國商估ノ爲メニ盛ニ内外爲替ノ事業ニ從事セシメハ彼我爲替相庭高低ノ權ヲ我國銀行ノ掌裡ニ歸セシメ商權モ亦自ラ我レニ復スルニ至ルヘク抑モ爲替ノ商業ニ於ケル猶車ノ兩輪ノ如ク偏廢スヘカラス然ルニ我國商估ハ未タ十分其權ヲ有セサルヲ以テ商業爲メニ振ハス常ニ外人ニ左右セラレ遺憾ノ至ニ有之旁別紙願ノ趣聞届候様致度此段相伺候至急何分ノ仰御裁令候也

明治十七年六月十六日

大藏卿 松方 正義

左大臣 熾仁親王殿下

(右指令)

伺ノ趣聞届候事

明治十七年七月十五日

凡ソ富國ノ基ハ内外貿易ノ隆盛ヲ計ルニ外ナラスシテ之レカ隆盛ヲ計ラントスレハ宜シク外國爲替ノ擴張ヲ務メ彼外國貿易ニ關スルノ全權ヲ擧テ我ニ掌握スルノ方法ヲ計畫セサルヘカラス且ツ爲替ハ商賣ノ基ニシテ商業ノ損益ハ爲替ノ相場ヨリ生スルモノニ付該權ノ我ニアルト彼ニ存スルトハ大ニ一國經濟上ニ影響スルモノト愚考仕候當銀行創立ノ目的ハ即チ外國爲替事務ノ擴張ヲ計ルニアルモノニシテ開業以來之レカ爲メニ計畫スル處不尠ト雖モ不幸ニシテ商況ノ變動ニ遇ヒ未タ其目的ヲ達セサルノ中途ニシテ大ニ業務ノ衰頹ヲ來シタルモ幸ニ政府御保護ノ厚キニヨリテ稍挽回ノ功ヲ奏シ得タルノミナラス既ニ今日ニ於テハ大ニ業務モ整頓ニ赴キ彼ノ海外爲替事務ノ如キモ意外ノ繁盛ヲ來タシ爲メニ内外ノ信用ヲ恢復シ最前企望シタル目的ヲ遂ケントスルノ運ニ達スルノ場合ナルヲ以テ倍進シテ海外爲替ヲ擴張シ漸次爲替ノ權ヲ我ニ掌握仕度奉存候折柄今般英國倫敦出張所ニ確實ナル内外ノ人員ヲ増シ支店ニ改メ漸次事業ヲ擴張仕度奉存候ニ就テハ創業ノ際其經費モ不尠候ニ付從前我政府ニテ外國公債元利金銷還ノ支拂ヲ彼東洋銀行ニ命令相成候處該銀行ハ此頃俄然營業ヲ停止シ大ニ内外ノ信用ヲ破リ候折柄此際何卒右元利金支拂ハ勿論諸官省ニ於テ外國品購買代金其他ノ爲替御用凡テ當銀行ヘ御命令被成下度然ル上ハ萬事正確ニ取扱フヘキハ勿論苟モ事ノ危險ナル事務ハ一切取扱不仕シテ漸次ニ事業ノ隆盛ヲ謀リ候ハ、獨リ當銀行ノ利益ノミナラス實ニ我經濟上ノ得策ナランカト奉愚考候若又右御用ノ内當銀行ヘ直接ニ御命令ノ儀不都合ノ廉モ有之候ハ、日本銀行代理店ノ名儀ヲ以テ御命令被下候トモ差支無之候尙取扱手續等ハ追テ上申可仕候間何卒前段ノ事情深ク御亮察ノ上速ニ御聞届被成下度此段奉愚願候也

明治十七年五月三十一日

橫濱正金銀行頭取

原 六 郎

大藏卿 松方正義 殿

橫濱正金銀行

明治六年英國倫敦ニ於テ發行セシ我七分利付外國公債抽籤及ヒ元利金支拂其他該公債ニ關スル一切ノ事務來ル明治十八年一月一日(即西曆千八百八十五年一月一日)利息拂ノ分ヨリ其銀行ニ取扱ヲ命任ス依テ其要件ヲ示ス左ノ如シ

第一條 七分利付外國公債證書ノ發行額ハ英金貳百四拾萬磅ニシテ本年七月一日迄ニ元金六拾六萬參千百磅ヲ償還シ利息トシ英金百七拾四萬八千八百參拾八磅ヲ支拂タルニ因リ現在未償還ノ元金額ハ英金百七拾參萬六千九百磅ニシテ利息ノ支拂フヘキモノ英金九拾萬六千參百六拾七磅ナリ斯ノ金額ハ別紙第一號元利濟崩表ニ據リ利息ハ來ル明治十八年一月一日拂(即西曆千八百八十五年一月一日)元金償還ハ同年七月一日拂(即西曆千八百八十五年七月一日)ノ分ヨリ年々支拂ノ事ヲ取扱フヘシ

第二條 七分利付外國公債ニ關スル責任ノ條款及ヒ抽籤元利支拂等ノ手續ハ別紙第二號明治六年一月十三日英國倫敦ニ於テ公告セシ日本政府七分利付公債貳百四拾萬磅ノ公告證書並ニ公告文ノ主旨ヲ遵奉スヘシ

第三條 七分利付外國公債證書ノ元金抽籤執行ノ場所ハ其銀行倫敦支店ニ於テシ又其執行ノ方法ハ從前東洋銀行ニ於テ取扱タル例式ニ準據スヘシ

第四條 七分利付外國公債ニ關スル事務ヲ其銀行倫敦支店ニ於テ取扱フヘキ旨速ニ同地刊行

ノ重モナル新聞紙(從前東洋銀行ニテ廣告仕來リタル新聞紙廣告)二種ヲ以テ一週間廣告ヲナスヘシ

第五條 七分利付外國公債ニ關スル事務ハ其銀行普通ノ業務ト判然區畫スヘシ

第六條 七分利付外國公債元金ハ公告文ニ記載アル如ク毎年四月一日抽籤執行ニ付前同日其銀行倫敦支店へ備金トシテ我領事ヲ經テ交付シ又利息ハ毎年一月一日拂ハ其前月十六日(即十二月十六日)七月一日拂ハ其前月十六日(即六月十六日)備金トシテ領事ヲ經テ交付スヘシ且ツ抽籤セシ即日ニ當籤ノ番號ヲ新聞紙(從前東洋銀行ニテ廣告仕來リタル新聞紙)二種ヲ以テ廣告シ利息拂ハ備金セシ即日ニ前同様廣告スヘシ

但本條元利金交付セシ日ヨリ債主へ拂渡ノ日迄ハ其時ノ都合ニ因リ定期預ケ又ハ保護預ケトナスモノトス

第七條 七分利付外國公債元金當籤償還證書及ヒ利子拂濟利札ハ每拂期ノ分ヲ取纏メ倫敦ニ於テ其銀行支店役員我領事立會ノ上燒却シ其證書及ヒ利札ノ種類番號ヲ詳記シタル燒却表ヲ別紙第三號様式ノ通調製シ同領事ヲ經テ差出スヘシ

但未拂ノ證書及ヒ利札アルトキハ其種類番號ヲ詳記シタル未拂表ヲ別紙第四號様式ノ通調製シ本文同時ニ差出スヘシ

第八條 七分利付外國公債元利支拂トシテ交付セシ備金ハ其銀行ニ於テ保管ノ責ニ任シ何等ノ事故ニ因リテ損失ヲ蒙ルコトアルモ總テ其銀行ニ於テ之ヲ辨償スヘシ但シ避クヘカクサル變災ニシテ其證據アルニ於テハ詮議ノ上之ヲ處分スヘシ

第九條 七分利付外國公債抽籤並元利金支拂等ノ手数料トシテ交付セシ元利金額ノ千分ノ五

即チ千磅ニ五磅ノ割合ヲ以テ支給スヘシ

第十條 七分利付外國公債元利拂ニ係ル雜費即チ廣告料並ニ證書塗抹費用等ノ如キハ其節ノ實費ヲ以テ拂渡スヘシ

第十一條 七分利付外國公債元利並ニ右ニ係ル手数料及ヒ廣告料證書塗抹費用等ノ如キ雜費共支拂ノ都度勘定書ヲ別紙第五號様式ノ通り調製シ我領事ヲ經テ差出スヘシ

第十二條 七分利付外國公債證書盜難若シクハ紛失等ニ罹リタル旨證書所有者ヨリ其銀行ヘ届出アルトキハ元利金拂渡ヲ廣告スル新聞紙二種ヲ以テ搜索方ヲ三日間掲載シ且ツ其旨ヲ速ニ我領事ヲ經テ届出ツヘシ而シテ廣告ノ日ヨリ滿七箇月ヲ經過スルモ尙ホ發願セサルトキハ同領事ヘ申出テ代リ證書ヲ請求シ所有者ニ交付ノ手續ヲ爲スヘシ

但代リ證書製造方其他詳細ノ手續ハ別段指示スヘシ

第十三條 七分利付外國公債抽籤及ヒ元利金支拂其他該公債ニ關スル一切ノ事務及ヒ證書帳簿類ハ在倫敦我領事ヲシテ隨時之ヲ検査セシムルモノトス但此場合ニ於テ検査ヲ拒ムヲ得サルヘシ

第十四條 此命任ノ條款ハ當省ノ都合ニ依リ改正増削スルコトアルヘシ

第十五條 當省ノ都合ニ依リテハ此命任ヲ何時ニテモ解任スルコトアルヘシ

右命任候事

明治十七年八月二十七日

大藏卿 松方正義

而シテ右外國公債事務取扱ニ關スル任命書ハ明治十七年十二月十七日左ノ如ク修正セラレタリ

橫濱正金銀行

七分利付外國公債ノ事務取扱ニ關シ本年八月二十七日下付セシ命任書第三條左ノ通増補ス
右相違候事

明治十七年十二月十七日

大藏卿 松方正義

第三條 七分利付外國公債證書ノ元金抽籤執行ノ場所ハ其銀行倫敦支店ニ於テシ又其執行ノ方法ハ従前東洋銀行ニ於テ取扱タル例式ニ準據シ且ツ該公債證書所有者ノ内一名立會ノ上抽籤執行スヘシ

但立會人ノ氏名ハ抽籤執行以前ニ新聞紙(元利金支拂ノ廣告)ヲ以テ廣告スヘシ
斯ノ如ク橫濱正金銀行ニ對スル命任書ノ第三條ヲ追加セラレタルニ拘ラス明治十八年五月五日

ニ至リ政府ハ更ニ在倫敦領事國田孝吉ノ報告ニ基キ明治十七年十二月達ヲ廢止スル旨ヲ達セリ
右外國債ノ元利金支拂取扱ニ關スル命令ハ其後實際ノ取扱上不便ノ點尠カラサルヲ以テ明治十九年三月十八日大藏大臣ハ右命任書ニ全部ノ改正ヲ加ヘタリ即左ノ如シ

橫濱正金銀行

七分利付外國公債元利金支拂等ノ事務取扱ニ關シ明治十七年八月二十七日下付シタル命任書別冊ノ通り改定候條來ル七月一日ヨリ施行スヘシ
但命任書英譯文ヲ下付ス

右相違候事

明治十九年三月十八日

大藏大臣伯爵 松方正義

命 任 書

第一條 七分利付外國公債ノ發行額ハ英貨貳百四拾萬磅ニシテ明治八年七月一日(即チ四曆千八百七十五年七月一日)ヨリ同十八年七月一日(即チ四曆千八百九十一年七月一日)迄英貨七拾五萬七千五百磅ヲ償還シ其利息トシテ本年一月一日迄英貨百九拾貳萬七千九百八拾拾志ヲ支拂タルニヨリ現在ノ未償還額ハ英貨百六拾四萬貳千五百磅將來支拂フヘキ利息ハ英貨七拾貳萬七千貳百九拾六拾拾志ナルニ由リ該公債元利混合年賦清崩表(表ニ下付)ニ據リ每期支拂ノコトヲ取扱フヘシ

第二條 七分利付外國公債ニ關スル約束及ヒ抽籤竝ニ元利金支拂期日等ハ日本政府七分利付公債貳百四拾萬磅公告證書竝ニ公告文ノ條款ヲ遵守スヘシ

第三條 七分利付外國公債元金ハ償還金輸出ノ期日即チ其年二月一日ヨリ五日(休日ヲ除キ)前ノ橫濱ヨリ英國倫敦ヘノ參著拂爲替相場ニヨリ支拂フヘキ英金ニ相當スル金額ヲ輸出ノ期日ニ先タチ切符又ハ現金ヲ以テ其行ヘ交付スヘキニ付其行倫敦支店ニ於テ抽籤執行ノ際備金ヲナシ拂期日ニ至リ支拂方取計フヘシ

但右ノ金額ニ對シテハ同一ノ爲替相場ヲ以テ當省出納局ヘ爲替取組方ヲ請求スルコトヲ得

第四條 七分利付外國公債利金ハ本邦輸出ノ期日即チ一月一日拂ハ前年十月十六日七月一日

拂ハ其年四月十六日ヨリ五日(休日ヲ除キ)前ノ橫濱ヨリ英國倫敦ヘノ參著拂爲替相場ニ依リ支拂フヘキ英金ニ相當スル金額ヲ輸出ノ期日ニ先タチ切符又ハ現金ヲ以テ其行ヘ交付スヘキニ付其行倫敦支店ニ於テ備金ヲナシ拂期日ニ至リ支拂方取計フヘシ

但右ノ金額ニ對シテハ同一ノ爲替相場ヲ以テ當省出納局ヘ爲替取組方ヲ請求スルコトヲ得

第五條 七分利付外國公債元利金ヲ每期其行ヘ交付スルトキハ之ヲ特別預ケ金トナスニ付當省國債局長ニ宛テ其預リ證書ヲ差出スヘシ

第六條 七分利付外國公債元利金支拂ノタメ每期交付シタル金額ハ之ヲ他ノ費途ニ流用スルヲ許サス

第七條 七分利付外國公債元利金支拂トシタル金額ハ其行ニ於テ保管ノ責ニ任シ水火盜難等ニ因リテ損失ヲ蒙ルコトアルモ總テ其行ニ於テ之レヲ辨償スヘシ

但避クヘカラサル變災ニシテ其證據判明ナルニ於テハ證據ノ上之ヲ處分スヘシ

第八條 七分利付外國公債元金償還ノ抽籤ハ其行倫敦支店ニ於テ我領事竝ニ公證人及ヒ其行倫敦支店役員竝ニ該公債證書所有者ニシテ之ニ臨席ヲ望ムモノ等立會ノ上執行スヘシ

第九條 前條抽籤執行ノ時ヨリ十五日以前ニ其時日及ヒ抽籤執行ノ旨ヲ倫敦ニ於テ重モナル新聞紙三種ヲ以テ二日間廣告スヘシ

第十條 前條抽籤ヲ執行セハ其翌日ヨリ當省ノ記番號ヲ倫敦ニ於テ重モナル新聞紙三種ヲ以テ二日間廣告スヘシ

第十一條 七分利付外國公債利付支拂ノ期ヨリ十五日以前ニ其支拂ヘキ時日及ヒ金額ヲ倫敦ニ於テ重ナル新聞紙三種ヲ以テ二日間廣告スヘシ

第十二條 七分利付外國公債ニシテ其拂期ノ次期マテニ債主ヨリ請求ナキ金額ハ仕拂濟證書及ヒ利札銷却表ヲ差出スト同時ニ之(元利並ニ支拂期ヲ區別スヘシ)ヲ國債局ヘ報告スヘシ

第十三條 前條請求ナキ金額ハ其行ヘ預ケ置クヘキニ付之ヲ以テ定期外ニ生スル不時ノ請求ニ應シ仕拂ヲナシ其證書及ヒ利札銷却表ヲ差出スト同時ニ其殘額ヲ國債局ニ報告シ七分利付外國公債償還滿期後來ル明治三十二年ノ年末ニ至リ尙ホ殘額アルトキハ勘定帳ヲ添ヘ悉皆之ヲ國庫ニ還納スヘシ

第十四條 其行ヘ特別預ケ金トナス第五條ノ元利金並ニ第十三條預ケ置キニ爲ス金額ノ勘定ハ總テ每會計年度ヲ區別シテ整理スヘシ

第十五條 七分利付外國公債元金支拂濟ノ證書ハ每拂期ノ分ヲ取纏メ十二箇月目又利子仕拂濟ノ利札ハ每拂期ノ分ヲ取纏メ六箇月目毎ニ倫敦ニ於テ我領事並ニ其行倫敦支店役員立會ノ上銷却シ其證書及ヒ利札ノ金高記番號ヲ詳記シタル銷却表(圖ニ下付シ)ヲ調製ス同領事ノ證明ヲ經テ當省國債局ヘ差出スヘシ

但當籤ニシテ未拂ノ證書及ヒ拂期過ニシテ未拂ノ利札アルトキハ其金高記番號ヲ詳記シタル未拂表(圖ニ下付シ)ヲ調製シ本條銷却表ト同時ニ差出スヘシ

第十六條 七分利付外國公債元利金每期支拂ノ勘定書ヲ調製シ前條銷却表ト共ニ當省國債局ヘ差出スヘシ

第十七條 七分利付外國公債證書ヲ亡失スルモノアルモ代リ證書ハ下付セサルモノトス若シ其證書當籤シタルトキ又ハ償還ノ期滿ツルトキハ相當ノ抵當品ヲ爲差出若シクハ保證人連印ノ辨償證書ヲ繳シ元金ヲ拂渡スヘシ又亡失利札ニ對スル利子又ハ亡失證書ニ對スル利子モ前同様ノ手續ヲ以テ之ヲ拂渡スヘシ

但本條保證人連印ノ辨償證書若シクハ抵當品ハ來ル明治三十二年ノ年末マテ其行倫敦支店ニ預リ置クヘシ若シ同期マテニ抵當品下戻ヲ請求アルトキハ之ヲ下戻シ更ニ保證人連印ノ辨償證書ヲ繳收スヘシ

第十八條 七分利付外國公債證書ヲ亡失シタル旨債主ヨリ申出アルトキハ時宜ニ據リ其亡失ノ次第ヲ廣告スヘキモノトス

第十九條 七分利付外國公債證書又ハ利札汚染毀損シタル旨申出ルモ代リ證書又ハ利札ヲ交付セス若シ其證書又ハ利札面ノ署名金額其他緊要ノ部分鮮明ナラスシテ其眞偽ヲ判別スルコト能ハサルトキハ第十七條亡失證書及ヒ利札ノ例ニ依テ取計フヘシ

第二十條 七分利付外國公債ニ關スル事務ハ其行普通ノ業務ト判然區別スヘシ

第二十一條 七分利付外國公債抽籤並元利金仕拂ニ係ル手数料ハ元利金支拂額ノ千分ノ五即チ千磅ニ付五磅ノ割合ヲ以テ支給スヘキニ付其金額勘定(圖ニ下付シ)ヲ調製シ當省國債局ヘ請求スヘシ

第二十二條 七分利付外國公債元利金支拂ニ係ル雜費廣告料並ニ證書塗抹費用等ノ如キハ其節ノ實費ヲ以テ拂渡スヘキニ付其支拂ノ領收證書ヲ添ヘ我領事ノ證明ヲ得テ之ヲ當省國債

局へ請求スヘシ

第二十三條 七分利付外國公債抽籤及ヒ元利金支拂其他該公債ニ關スル一切ノ事務ハ在倫敦我領事監督ヲナスモノトス又其行倫敦支店ノ該公債ニ關スル書類及ヒ帳簿類ハ同領事ヲシテ隨時之ヲ調査セシムルモノトス

但此場合ニ於テ其調査ヲ拒ムヲ得ス

第二十四條 此命任書ハ當省ノ都合ニ依リ改正増削スルコトアルヘシ

第二十五條 當省ノ都合ニ依リ此命任ヲ何時ニテモ解クコトアルヘシ

既ニシテ公債元利金未決算ニ屬スルモノ、取扱方ニ關シ大藏省ノ省議決定セルヲ以テ明治十九年十二月十七日ニ至リ曩ニ達示セル命任書中左ノ如ク改正セリ

橫濱正金銀行

七分利付外國公債元利金支拂等ノ事務取扱ニ關シ本年三月十八日下付シタル命任書第十五條第十六條及ヒ第二十一條ヲ左之通修正追加ス

但英譯文ヲ下付ス

明治十九年十二月十七日

大藏大臣伯爵 松 方 正 義

第十二條 七分利付外國公債元利金ニシテ相當年度内即チ四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテニ支拂ヲ了セサル金額ハ精算帳ヲ差出スト同時ニ之ヲ(元利並支拂期)當省國債局へ報告スヘシ

第十五條

七分利付外國公債元利金支拂濟證書及ヒ利札ハ前年四月一日ヨリ其年三月マテニ支拂タルモノヲ取纏メ毎年四月中倫敦ニ於テ我領事並ニ其行倫敦支店役員立會ノ上銷却シ其證書及ヒ利札ノ金高記號番號ヲ詳記シタル銷却表ヲ調製シ同月三十日迄ニ同領事ノ證明ヲ經テ當省國債局へ差出スヘシ

但未拂ノ證書及ヒ利札ハ其金高記號番號ヲ詳記シタル未拂表ヲ調製シ本條銷却表ト同時ニ差出スヘシ

第十六條 七分利付外國公債元利支拂金ハ前年四月一日ヨリ其年三月三十一日迄ノ受拂精算帳ヲ調製シ前條銷却表ト共ニ當省國債局へ差出スヘシ

第二十一條中「勅定書ヲ調製シ」ノ下へ「元利金受拂精算帳ト同時ニ」ノ十二字ヲ加フ

明治二十二年ニ至リ法律第四號會計法ノ發布アリテ明治二十三年度ヨリ實施セラル、ニヨリ公債事務命任書ノ條項中往々會計法ノ規定ニ照シ改正ヲ要スヘキモノアルヲ以テ大藏大臣ハ明治二十三年三月二十九日左ノ如ク改正達書ヲ橫濱正金銀行ニ交付セリ

橫濱正金銀行

外國公債元利仕拂等ノ事務取扱ニ關シ明治十九年三月十八日下付シタル命任書(十九年十二月加)ノ儀第五條第十二條第十四條ヲ削除シ第三條第四條第七條第十五條第十六條第二十一條第二十二條ヲ別紙ノ通り改正シ二十三年四月一日ヨリ施行スヘシ

但命任書ノ英譯文ヲ下付ス

明治二十三年三月二十九日

大藏大臣

(別紙)

第三條 七分利付外國公債元金(毎年七月)ハ其年二月一日ヨリ五日(休日ヲ)前ノ橫濱ヨリ英國倫敦ヘノ參著拂爲替相場ニ依リ支拂フヘキ英金ニ相當スル金額ヲ二月五日マテニ其行ニ交付スヘキニ付當該年仕拂フヘキ英金ニ對シ請求書ヲ當省ニ差出スヘシ

該元金ハ其行倫敦支店ニ於テ抽籤執行ノ際備金ヲナシ拂期ニ至リ支拂方取扱フヘシ

第四條 七分利付外國公債元金ハ一月一日拂ハ前年十月十六日七月一日拂ハ其年四月十六日ヨリ五日(休日ヲ)前ノ橫濱ヨリ英國倫敦ヘノ參著拂爲替相場ニ依リ仕拂フヘキ英金ニ相當スル金額ヲ一月一日拂ハ前年十月二十日マテ七月一日拂ハ其年四月二十日マテニ其行ニ交付スヘキニ付當該年月支拂フヘキ英金ニ對シ請求書ヲ當省ニ差出スヘシ

該利金ハ其行倫敦支店ニ於テ備金ヲナシ拂期日ニ至リ支拂方取計フヘシ

但前條及ヒ本條ノ出納ニ關シ本店ニ於テ帳簿ヲ設置シ様式ヲ定メ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第七條 七分利付外國公債元金仕拂基金トシテ交付シタル金額ニ付其行ハ一切ノ責任ヲ負ヒ損失ヲ生シタル場合ニハ之ヲ辨償スヘシ

但變異等ニヨリ其保管上避ケ得ヘカラサリシ事實アルトキハ之ヲ證明シ其處分ヲ請フコトヲ得

第十五條 七分利付外國公債元金仕拂濟證書又利札ハ毎月支拂タルモノヲ取纏メ翌月十日

マテニ倫敦ニ於テ我領事並ニ其行倫敦支店役員立會ノ上銷却シ其證書及ヒ利札ノ金高記號番號ヲ詳記シタル銷却表ヲ調製シ領事ノ證明ヲ經テ本命令書第十六條ノ仕拂計算書ノ證書類トシテ當省ヘ差出スヘシ

但未拂ノ證書及ヒ利札ハ其金高及ヒ記號番號ヲ詳記シタル未拂表ヲ調製シ本條銷却表ト同時ニ差出スヘシ

第十六條 七分利付外國公債元金支拂ニ對シテハ其行ハ會計検査院ノ検査判決ヲ受クヘシ因テ毎月支拂高ヲ翌月二十日限リ倫敦ヲ發シ報告セシメ本店ニ於テ仕拂計算書ヲ調製シ下検査ヲ受クル爲メ當省ヘ差出スヘシ

第二十一條 七分利付外國公債抽籤並ニ元利金支拂ニ係ル手数料ハ元利金支拂額ノ千分ノ五即チ千磅ニ付五磅ノ割合ヲ以テ支給スヘキニ由リ第十六條ノ計算書ヲ差出シタル後當省ヘ請求スヘシ

第二十二條 七分利付外國公債元金支拂ニ係ル雜費即チ廣告料並ニ證書塗抹費等ノ如キハ其節ノ實費ヲ以テ拂渡スヘキニ付其支拂ノ領收證書ヲ添ヘ我領事ノ證明ヲ得テ之ヲ當省ヘ請求スヘシ

但前條及ヒ本條請求ニ對シ交付スル金額ヲ改算スル爲替相場ハ請求書受理ノ日ノ橫濱ヨリ倫敦ヘノ爲替相場ニ依ルモノトス

然ルニ同年四月ニ至リ命令書中第十三條ヲ修正シ更ニ同年九月再ヒ同條ニ改正ヲ加ヘタリ右兩度ノ改正ニカ、ル條項左ノ如シ

橫濱正金銀行

本年三月二十九日ヲ以テ外國公債元利金仕拂取扱ニ關スル命任書改正ノ件相達候處明治十九年三月十八日下付シタル命任書中第十三條ヲ別紙ノ通修正シ最前ノ命任書へ追加ス
但命任書ノ英譯文ハ最前ノ命任書ト併セテ下付ス

明治二十三年四月十五日

大藏大臣伯爵 松 方正 義

第十三條 七分利付外國公債元利金ニシテ其年度末日マテニ支拂ヲ了ラサルモノハ五月三十一日限リ仕拂未済報告書ヲ當省へ差出スヘシ
前項支拂未済ノ元利金ニ對シ當省ヨリ返納告知書ヲ交付スヘキニ由リ中央金庫ニ還納スヘシ

前項還納セシ支拂未済金ニシテ後年度ニ於テ支拂フヘキモノハ年度開始後直ニ其年度内ニ於テ豫メ仕拂フヘキ見込額ヲ以テ請求書ヲ當省へ差出スヘシ

橫濱正金銀行

本年四月十五日付ヲ以テ外國債元利金仕拂ニ係ル取扱方改正追加ノ儀及命任候處尙ホ別紙ノ通り改正候條此段相達ス

但改正ニ係ル英譯文ヲ下付ス

明治二十三年九月十五日

大藏大臣伯爵 松 方正 義

第十三條 「其年度末日」トアルヲ「翌年度六月三十日」ニ「五月三十一日」トアルヲ「八月二十日」ニ改ム
第二項 「返納」トアルヲ「納入」ニ改メ左ノ但書ヲ追加ス

但本項還納金ハ第三條第四條ニ於テ交付ヲ受ケタルトキノ爲替相場ヲ以テ本邦通貨ニ改算スヘシ

第三項 「年度開始後直ニ其年度内ニ於テ豫メ」ノ十六字ヲ削除シ「同年度七月一日後直ニ」ノ十字ヲ加フ

明治二十四年四月ニ至リ橫濱正金銀行ハ命任書第三條第四條ニ於テ元利仕拂基金ノ爲替相場ハ該基金交付定日前五日間ノ平均相場ヲ用ユルコト、ナレルモ斯クテハ爲替相場ノ變動甚シキ爲メ營業上鈔カラサル影響ヲ被ルヲ理由トシ各十日間ノ平均ニ改メンコトヲ申請セリ是ニ於テ同月二十日大藏大臣ハ右申請ヲ納レ命任書中改正ノ件ヲ左ノ如ク達セリ

橫濱正金銀行

外國公債元利仕拂等ノ事務取扱ニ關シ明治十九年三月十八日下付シタル命任書中第三條第一項第四條第一項別紙ノ通り改正シ本年七月利息拂ノ分ヨリ施行ス
明治二十四年四月二十日

大藏大臣伯爵 松 方正 義

第三條 七分利付外國公債元金(毎七月一日拂)ハ其年一月二十七日ヨリ二月五日マテノ十日間ノ内ニ於テ本邦輸出送金ノ手續ヲナシ其最終ノ日ニ於テ代リ金ノ請求書ヲ當省ニ差出スヘシ
第四條 七分利付外國公債利金ハ一月一日拂ハ前年十月十一日ヨリ同月二十日マテ十日間七

月一日拂ハ其年四月十一日ヨリ同月二十日マテ十日間ノ内ニ於テ本邦輸出送金ノ手續ヲナシ其最終ノ日ニ於テ代リ金ノ請求書ヲ當省ヘ差出スヘシ

從來橫濱正金銀行ニ支給スル元利手数料ハ仕拂濟英貨額千磅ニ付五磅ノ割合ヲ以テ請求セシメ大藏省ハ該請求書受理ノ當日ノ爲替相場ニ依リ我銀貨ニ換算スルノ例規ナリシモ其標準タル元利金ハ銀貨ヲ以テ交付シ銀貨ヲ以テ決算スルモノナルニヨリ右手手数料モ別ニ英貨額ヲ用フルノ必要ナク其交付シ及ヒ決算スル所ノ銀貨額ニ基キ千分ノ五ヲ算出シテ支給スルヲ便利トスルヲ以テ大藏大臣ハ同年十月橫濱正金銀行ノ意見ニ基キ左ノ如ク改正セリ

橫濱正金銀行

七分利付外國公債元利金仕拂事務取扱ニ關シ明治十九年三月十八日其行ニ下付シタル命任書中別紙ノ通り第十八條ヲ改正シ第十九條但書中前條及ノ三字ヲ削除シ今後交付ノ分ヨリ施行ス

明治二十四年十月十八日

大藏大臣伯爵 松 方 正 義

命任書

第十八條 七分利付外國公債抽籤並ニ元利金仕拂ニ係ル手数料ハ元利金仕拂銀貨額千分ノ五ノ割合ヲ以テ支給スヘキニ由リ第十三條ノ計算書ヲ差出シタル後當省ヘ請求スヘシ
尋テ明治二十六年十二月ニ至リ更ニ命任書第十一條及ヒ第三條中一部ノ改正ヲ加ヘ明治二十七年一月ヨリ實施スルコト、シ左ノ如ク達セララル

橫濱正金銀行

明治十九年三月十八日其行ヘ下付シタル命任書中左ノ通り追加改正ス

但明治二十七年一月一日ヨリ施行スヘシ

明治二十六年十二月二十六日

大藏大臣 渡 邊 國 武

第十一條第一項中六月三十日ヲ七月三十一日ニ八月二十日ヲ九月十五日ニ同條第三項中七月一日ヲ八月一日ニ改ム

第十三條ニ左ノ但書ヲ追加ス

但本條元利金仕拂額ハ計算書提出ト同時ニ國債局ニ報告スヘシ

以上述ヘタル如ク明治十七年中倫敦東洋銀行破産ノ際大藏大臣ノ命任ニヨリ七分利付外國公債ノ取扱ヲ命セラレタル以來能ク其任務ヲ盡シ明治三十年七月ヲ以テ滿期償還ヲ爲スニ至レリ然レトモ尙ホ債主未請求等ノ爲メ仕拂未済ノ元利金アルヲ以テ爾來依然トシテ其命任ヲ繼續セリ

第四款 日本銀行代理事務

前述セル所ノ外尙ホ橫濱正金銀行ハ日本銀行ノ委託ヲ受ケテ取扱ヒヲ爲セル事務アリ今左ニ其概要ヲ敘セシ

一 造幣成貨拂渡證書ハ造幣規則ニ據レハ日本銀行支店ノ外ハ期日前前渡ヲ爲サ、ル成規ナリシモ該證書拂渡期日前橫濱神戸ニ於テ賣却ヲ望ムモノ漸次増加スルニ至リシカ若シ正金銀行ニ於テ其事務ヲ代理處辦スルトキハ自然依頼人ニ便利ヲ與ヘ且ツ將來造幣依頼者増加ノ一端ト

ナルヘキヲ以テ兩行ノ間ニ約束ヲ締結シテ明治十八年四月ヨリ之ヲ實施セリ

二 外國ノ貿易取引最モ多クシテ銀貨ノ需用最モ頻繁ナル地ハ固ヨリ橫濱港ニ若クハナシ之ヲ以テ正金銀行ハ明治十八年六月日本銀行ト兌換券引換ノ取扱代理約束ヲ締結セリ而シテ正金銀行ハ兌換銀行券取扱ノ用ニ供スル爲メ兌換引換資本トシテ適當ノ金額ヲ日本銀行ヨリ受託シ且ツ其引換取扱ノ爲メ手数料トシテ一箇年六千圓ノ支拂ヲ受ケタリ

三 明治二十二年度以降政府ハ外國爲替金ヲ準備金ヨリ支出スル事ヲ停メシヲ以テ正金銀行ハ頓ニ其財源ヲ失ヘリ此間ニ處シ一方ニ於テハ國立銀行ヲ助ケテ産地ヨリ貿易港へ物品ヲ誘導シ一方ニ於テハ輸出形ヲ再割引又ハ購買シテ貿易港ノ銀行ヲシテ内外商人ノ手形ヲ割引又ハ購入スルノ便ヲ得セシメ以テ我輸出貿易ヲ獎勵シ同時ニ其庫中ニ正貨ヲ吸集スルハ中央銀行タル日本銀行ノ任務ナリト雖モ自ラ外國爲替取扱ノ衝ニ當リテ其危險ヲ冒スカ如キハ亦タ避ケサルヘカラサル所ナルヲ以テ明治二十二年十月日本銀行ハ正金銀行ト特約シテ本行所有ノ外國爲替手形ヲ年二分ノ歩合ヲ以テ再割引スルコト、ナセリ而シテ正金銀行ハ日本銀行ノ爲ニ其手形代金ノ取立ヲ爲スノ責ニ任シ金銀地金ヲ輸入シテ取立爲替金ノ返納ニ充テ又不渡等ノ損失ハ皆其負擔トナシテ以テ低廉ナル割引歩合ニ酬ヒタリ

四 明治二十八年清國政府ヨリ我國へ拂込ム債金ハ總テ之ヲ日本銀行ニ寄託スル事ト爲シ同年十二月二十五日大藏大臣ハ日本銀行寄託預金事務取扱順序ヲ定メテ之ヲ同行ニ令達セリ而シテ日本銀行ハ英國倫敦ニ於テ其寄託ヲ受ケタルヲ以テ寄託ノ現貨金銀地金及有價證券ノ保管出納事務取扱ノ代理ヲ正金銀行倫敦支店へ囑託スルノ契約ヲ其本店ト締結シ二十九年二月六日ヲ

以テ大藏大臣ノ認可ヲ得爾來之ヲ實行セリ

第五款 營業成績諸表

本款ニ於テハ營業成績ノ諸表ヲ掲クヘシ表中第一表及ヒ第二表ハ政府ヨリ正貨回收ノ爲メ交付シタル外國荷爲替基金其他ノ諸預リ金ヲ示シ第三表ハ政府ヨリ交付シタル外國荷爲替基金及ヒ正金銀行ノ資本金ヲ以テ外國荷爲替ヲ取組ミタル高ヲ示シ第四第五ノ二表ハ右荷爲替ノ作用ニ據リ海外ニテ正貨ヲ回收シタル實況ヲ示シ第六表ハ日本銀行ニ就キ再割引シタル金額ヲ示シ第七表以下ハ普通銀行事業ニ係ル成績ヲ示シ併テ累年純益金ノ景況ヲ示スモノナリ

政府預金高

第一表

年次	御用預金	御用假預金	別股預金	御用外國爲替預金	御用內國爲替預金	御用外國爲替預金	御用外國爲替元預金	外國人御用預金	御用荷爲替年賦預金	御用別途預金	御用當座預金	御用振出手形
明治十三年	八、四〇〇、〇〇〇	一、六八七、七〇〇	九七六、五〇〇	三、八八八、八二五	三、六五五、〇〇〇	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六
十四年	六、六三二、七九六	一、二二四、七四九	三、八八八、八二五	三、六五五、〇〇〇	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六
十五年	四、六六二、五五五	一、一六〇、五七一	三、八八八、八二五	三、六五五、〇〇〇	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六
十六年	二、三三三、二二二	九七六、五〇〇	三、八八八、八二五	三、六五五、〇〇〇	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六
十七年	九、六八八、七五五	一、一六〇、五七一	三、八八八、八二五	三、六五五、〇〇〇	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六
十八年	一、一〇〇、〇〇〇	一、一六〇、五七一	三、八八八、八二五	三、六五五、〇〇〇	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六
十九年	一、一〇〇、〇〇〇	一、一六〇、五七一	三、八八八、八二五	三、六五五、〇〇〇	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六	一、七二七、七二六

年次	明治二十年	二十一年	二十二年	二十三年	二十四年	二十五年	二十六年	二十七年	二十八年
御用預金	九,九一五,四四四	一〇,六六五,七四六	二二,四五五,八八九	三二,八四四,四五二					
御用別段預金	二〇,〇九六,六三三	二五,〇〇〇,〇〇〇	七,二八七,九八五	一〇,五三三,五九三	一〇,五三三,五九三	五〇,七〇〇	三六,九七二	三六,九七二	二四,九三三
御用當座預金	一六,七五〇,八四四	一三,八四六,二八七							
銀塊外國貨幣	一三,八四六,二八七	一三,八四六,二八七	六,〇四二,九三九						
仕換元預金	一四,三〇六,二四六	一四,三〇六,二四六							
外國公債元利	二四,六七一,二二七								

備考

御用預金ハ管理官ノ命ヲ受ケ銀貨買入若シテハ臨時貸付等ニ使用スル爲メニ預リタル金ニシテ平常準備ヲ要セザルモノニ付假ノ文字ヲ以テ之ヲ區別セシカ十四年以後ハ御用預金ヘ振換エタリ
御用外國爲替元預金ハ内外人ヘ取組ヘキ爲替元金トシテ大藏省ヨリ預リタル紙幣勘定ナリ之ヲ以テ漸次内外人ヘ爲替ヲ取組ニ從ヒ外國爲替預金ニ振換ユル者ナリ
外國人御用爲替元預金ハ御用外國爲替元預リ金トシテ受取リタル紙幣ヲ以テ臨時銀貨ヲ買入置キ外國人爲替ニ支拂シモノナリ
御用爲替年賦預金ハ明治十六年以前ニ係ル内外荷爲替取組高ニ對スル預金ノ返納延滞ニ屬スル高ニシテ漸次年賦其他ノ方法ヲ以テ返納スヘキモノナリ
御用別途預金ハ大藏省ヨリ預ケ入レノ銀貨ニシテ漸次紙幣ニ交換スルモノナリ
本表ハ前年ノ越高ニ其年ノ現預高ヲ加ヘシモノニ付右越高丈ケハ重複ノ數アリト知ルヘシ

倫敦支店諸預金高

第二表

年次	明治十八年	十九年	二十年	二十一年	二十二年	二十三年	二十四年	二十五年	二十六年	二十七年	二十八年
御用預金	一,一六二,二六六	一,五三三,四七三	二,二二二,八三三	九,五六二,二九九							
御用別段預金		三,四七四,四六一	九,三三二,二二八	二九,五一一,二二八	一八,一六九						
御用當座預金	一,九七二,八五一	八〇五,六七六	七二二,五五〇	一七,二九八,七三二	三六,二九八,八	九,二四八					
銀塊外國貨幣	三三三,〇〇〇	六二二,四八八									
仕換元預金	二,七九七,〇〇〇	二,二四九,九九六	二,八七二,二七四	二,六三三,九九九	二,六〇,五八四	二,六〇,五八四	二,六〇,五八四	二,六〇,五八四	二,六〇,五八四	二,六〇,五八四	二,六〇,五八四
外國公債元利	二,七九七,〇〇〇	二,二四九,九九六	二,八七二,二七四	二,六三三,九九九	二,六〇,五八四	二,六〇,五八四	二,六〇,五八四	二,六〇,五八四	二,六〇,五八四	二,六〇,五八四	二,六〇,五八四

同	三十五年									九七六、三四三
同	三十四年									七六六、九三三
同	三十三年									九〇八、二七七

海外為替取組高

第三表

年次	海外直輸為替貸	内地為替元貸出高	外國為替金	外國為替返納同送金為替假渡金	他所外國為替假渡金	内外為替年賦貸	外國為替假渡金	合計
明治十三年	九七六、三四三							九七六、三四三
同十四年	四、四七〇、八七〇	二、七〇三、〇一九						六、八五〇、八八九
同十五年	三、四七二、八一〇	七七八、三五六	一、七八二、七七六					六、〇三三、九六一
同十六年	一、一六〇、五七五	六〇三、四七三	六、二二九、〇七	四、六九三、三〇〇	一、五七三、四四四	一、〇〇五、五〇一		二、二二二、二八四
同十七年	九七八、四二八	六〇三、四七三	九、九六五、八六七	一、三三九、一八四	一、三三九、一八四	一、一五九、七〇七		一、八八二、八八七
同十八年			一、一六六、六三九	二、七九五	一、七三六、六〇三	一、五五六、六九五		二、七二二、〇七二
同十九年			二、二七九、五五三		一、一五二、一六二	一、五九〇、五二九		一、六三三、八二六〇
同二十年			二、〇六二、二六二		九、四八〇、三三三	一、三三八、九二六		四、七九三、一六五
同二十一年			二、四七二、二六八			二、二九〇、三五六		三、一七二、二二四
同二十二年			三、三六五、八二八			一、七一九、七七一		三、二五五、五九八
同二十三年						一、〇六三、五八六		一、〇六三、五八六

同	二十四年								一一、〇三三、八三七
同	二十五年								一一、二七八、二二二
同	二十六年								一一、二七八、二二二
同	二十七年								八、五二〇、九二八
同	二十八年								一四、八〇五、五五〇
同	二十九年								一六、六三三、九八八
同	三十年								一四、二七三、七九九
同	三十一年								二二、七八九、九三三

備考

海外直輸為替貸ハ横濱ノ直輸出諸會社ノ手ヲ經テ英米其他ニ在留スル同銀行ノ出張員ニ向テ為替ヲ取組ムモノナリ
内地為替元貸出金ハ海外ニ輸出スヘキ物品アル各地方ノ銀行ヲ代理店ト見做シ為替ノ取組方ヲ委託セルモノニシテ之ヲ細別スレハ為替元貸
ト為替前金貸ノ二類アリ
外國為替金ハ十五年三月以降改正規程ニ從ヒ直輸出品ニ對シ為替相場ヲ以テ取組ム所ノ為替金ナリ
外國為替返納同送金ハ佛國及濠洲ヘ向テ取組ムル為替金ノ同地ニ於テ取立齊トナルモ之ヲ英國領事館ニ同送シ該領事館ノ領收證ヲ得サレハ政府ノ預ク入金ニ對シ返納決算ノ手續ヲ終ラサル者ニ付右佛國ノ兩地ヨリ英國ヘ向ク同送中ノ勘定ニ此名額ヲ算ハセリ

當所外國為替假渡金他所外國為替假渡金ノ二項ハ共ニ直輸出ニ對スル前渡金ニシテ追テ外國為替金ニ振換返入スヘキ者ナリ尤モ他所外國為替假渡金ハ直輸出生絲ニ對シ内地ヨリ積算マテノ為替金ニ使用スル爲メ正金銀行出張員ノ各地方ヘ携帶シタル者ニシテ當所外國為替假渡金ハ在積算直輸出請會社ヘ貸渡セシモノナリ

外國為替假渡金ハ外國人ヘ爲替取組ノ前一時取組ムヘキ爲替ヲ引當ニ假渡サナス者ナリ

外國為替假渡金ハ三十二年ヨリ爲替當座貸トナリ請貸付金ニ合併スルコトトナレリ

各出張所荷爲替金取立上納高

第四表

年度	舊英國倫敦所	佛國里昂所	米國紐約所	米國桑港所	澳洲メルボルン出張所	日本貨換算合計
自明治十三年九月 至同十四年六月	一六六六一		四〇〇六八	四〇〇六八		
自同十四年六月 至同十五年七月	八九六二六		四〇〇六八	四〇〇六八		
自同十五年七月 至同十六年六月	一三三三三		四〇〇六八	四〇〇六八		
自同十六年六月 至同十七年七月	一三三三三		四〇〇六八	四〇〇六八		
自同十七年七月 至同十八年六月	一三三三三		四〇〇六八	四〇〇六八		
自同十八年六月 至同十九年七月	一三三三三		四〇〇六八	四〇〇六八		
自同十九年七月 至同二十年六月	一三三三三		四〇〇六八	四〇〇六八		
自同二十年六月 至同二十一年七月	一三三三三		四〇〇六八	四〇〇六八		
自同二十一年七月 至同二十二年六月	一三三三三		四〇〇六八	四〇〇六八		
自同二十二年六月 至同二十三年七月	一三三三三		四〇〇六八	四〇〇六八		

倫敦支店荷爲替金取立上納高

第五表

年度	金額
自明治十七年七月 至同十八年三月	一三九四九
自同十八年三月 至同十八年九月	九八八六
自同十八年九月 至同十九年三月	七三三二
自同十九年三月 至同十九年九月	三三三三
自同十九年九月 至同二十年三月	三三三三

備考
表中換算トアルハ外國貨幣ヲ我銀貨ニ換算シタル高ナリ

年度	金額
自同十七年七月 至同十七年十二月	七四四六
自同十七年十二月 至同十八年六月	四〇七四〇
自同十八年六月 至同十八年十二月	四六六二二
自同十八年十二月 至同十九年六月	二五七二九
自同十九年六月 至同十九年十二月	二五七二九
自同十九年十二月 至同二十年六月	二五七二九
自同二十年六月 至同二十年十二月	二五七二九
自同二十年十二月 至同二十一年六月	二五七二九
自同二十一年六月 至同二十一年十二月	二五七二九
自同二十一年十二月 至同二十二年六月	二五七二九
自同二十二年六月 至同二十二年十二月	二五七二九
自同二十二年十二月 至同二十三年六月	二五七二九
自同二十三年六月 至同二十三年十二月	二五七二九
自同二十三年十二月 至同二十四年六月	二五七二九
自同二十四年六月 至同二十四年十二月	二五七二九
自同二十四年十二月 至同二十五年六月	二五七二九
自同二十五年六月 至同二十五年十二月	二五七二九
自同二十五年十二月 至同二十六年六月	二五七二九
自同二十六年六月 至同二十六年十二月	二五七二九
自同二十六年十二月 至同二十七年六月	二五七二九
自同二十七年六月 至同二十七年十二月	二五七二九
自同二十七年十二月 至同二十八年六月	二五七二九
自同二十八年六月 至同二十八年十二月	二五七二九
自同二十八年十二月 至同二十九年六月	二五七二九
自同二十九年六月 至同二十九年十二月	二五七二九
自同二十九年十二月 至同三十年六月	二五七二九
自同三十年六月 至同三十年十二月	二五七二九

備考
 表中換算トアルハ外國貨幣ヲ我銀貨ニ換算シタル高ナリ
 本表ハ見出ノ年度内ニ外國ニテ取立タル高ヲ掲ケシモノニテ取立未済ノ
 モノアリト知ルヘシ

年次	再割引手形		年次	第六表	
	割引高	決算高		割引高	決算高
明治二十二年	八〇五二〇六五	一、三三九八二四	明治二十九年	三三、四六八、六二七	三一八、四七〇、三〇三
同二十三年	一八六、八六〇、八二二	一六、三二四、三三九	同三十年	二二、一八〇、二六六	二二七、一、九五八
同二十四年	一八〇〇五、九九九	一八、八二八、二七五	同三十一年	一〇、四三三、七三三	六九、二七四、六〇九
同二十五年	一九〇三八、九三九	一八、八二八、二七五	同三十二年	一四、七八七、五二〇	一〇、四三三、七三三
同二十六年	一七、三二二、九九一	一九、六七二、二八二	同三十三年	一六、一〇三、九九八	一五、七六四、〇三〇
同二十七年	一五、三三〇、〇七五	一九、六七二、二八二	同三十四年	九九、七五六、五二三	九六、一三三、一七五
同二十八年	一一、五六一、五二七	九、一〇四、四七七	同三十五年	一一八、〇九九、五八七	一一三、二八五、七六六

備考
 明治二十九年割引高參百參拾七萬貳千八百參拾七圓 決算高ニ貳百貳拾萬參
 拾七圓 三十年割引高ニ五拾壹萬貳千貳百圓 決算高ニ百六拾八萬五千圓ノ内
 國割引高ヲ含ム
 明治三十一年ヨリ海外支店出張所ノ高ヲ含ム

本店及ヒ内國支店出張所取引高

第七表

年次	諸預金	諸貸付金	爲替		代金取立手形	
			内國手形	外國手形	内國手形	外國手形
明治十三年	一一、三九六、一一〇	七、七九九、八九〇	一一、一六、一一五	一一、一六、一一五	九、七三三	一一、一六、一一五
同十四年	二七、七三三、〇八九	一一、七二二、八二〇	一一、二二八、〇三〇	一一、二二八、〇三〇	一一、一〇八、八	一一、二二八、〇三〇
同十五年	四〇、一〇一、七三八	一七、一五五、一七五	一七、一七二、七二二	一七、一七二、七二二	一三、六六三、一	一三、六六三、一
同十六年	四九、九五五、四七〇	二七、八七三、七二六	一、六七六、〇三三	一、六七六、〇三三	一三、六六三、一	一三、六六三、一
同十七年	七、七九八、一九八	四、三二一、二二二	一、一六七、七四〇	一、一六七、七四〇	六、四九三、〇三三	六、四九三、〇三三
同十八年	八、九八五、四七五	四、九〇一、二二九	一、一六七、七四〇	一、一六七、七四〇	九、一四二、七七八	九、一四二、七七八
同十九年	二八、一〇七、一五五	一七、六九六、八九一	二、二九四、〇三〇	二、二九四、〇三〇	一〇、四三三、七三三	一〇、四三三、七三三
同二十年	五三、〇二九、四七〇	二〇、九九九、一一二	二、九八八、一八五	二、九八八、一八五	二九、一八九、九	二九、一八九、九
同二十一年	五九、四三三、八五五	二二、〇三三、五七七	一、一八九、九二二	一、一八九、九二二	一〇、三三三、七三三	一〇、三三三、七三三
同二十二年	五九、四三三、八五五	二二、〇三三、五七七	一、一八九、九二二	一、一八九、九二二	一〇、三三三、七三三	一〇、三三三、七三三
同二十三年	六四、八四〇、五八四	二二、一七三、二六三	一、一八九、九二二	一、一八九、九二二	一〇、三三三、七三三	一〇、三三三、七三三
同二十四年	七三、三三三、一〇一	二九、五二一、九九〇	一、一八九、九二二	一、一八九、九二二	一〇、三三三、七三三	一〇、三三三、七三三
同二十五年	六九、一〇〇、〇〇〇	二九、五二一、九九〇	一、一八九、九二二	一、一八九、九二二	一〇、三三三、七三三	一〇、三三三、七三三
同二十六年	六九、一〇〇、〇〇〇	二九、五二一、九九〇	一、一八九、九二二	一、一八九、九二二	一〇、三三三、七三三	一〇、三三三、七三三
同二十七年	六九、一〇〇、〇〇〇	二九、五二一、九九〇	一、一八九、九二二	一、一八九、九二二	一〇、三三三、七三三	一〇、三三三、七三三
同二十八年	六九、一〇〇、〇〇〇	二九、五二一、九九〇	一、一八九、九二二	一、一八九、九二二	一〇、三三三、七三三	一〇、三三三、七三三

第十編 銀行 第六章 橫濱正金銀行

年次	諸預金	諸貸付金	為替		割引手形		代金取立手形	
			內國手形	外國手形	內國手形	外國手形	內國手形	外國手形
明治十八年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	
同十九年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	
同二十年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	
同二十一年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	
同二十二年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	
同二十三年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	
同二十四年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	
同二十五年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	
同二十六年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	
同二十七年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	
同二十八年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	
同二十九年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	
同三十年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	
同三十一年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	
同三十二年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	
同三十三年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	
同三十四年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	
同三十五年	三三〇,三三三	六八,一三七	三〇,八六六	一,一〇三	八,二四一	一六五	一〇〇	

倫敦支店取引高

第八表

年次	諸預金	諸貸付金	為替		割引手形		代金取立手形	
			內國手形	外國手形	內國手形	外國手形	內國手形	外國手形
明治十四年	一七,七七九	一〇,八九九	二,二七二	三,九八七	一〇,五二六	一,三二八	三,三九七	
同二十三年	二,五三三,九九二	五,〇〇三,三三三	一,〇六六	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	
同二十四年	二,五三三,九九二	五,〇〇三,三三三	一,〇六六	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	
同二十五年	二,五三三,九九二	五,〇〇三,三三三	一,〇六六	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	
同二十六年	二,五三三,九九二	五,〇〇三,三三三	一,〇六六	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	
同二十七年	二,五三三,九九二	五,〇〇三,三三三	一,〇六六	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	
同二十八年	二,五三三,九九二	五,〇〇三,三三三	一,〇六六	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	
同二十九年	二,五三三,九九二	五,〇〇三,三三三	一,〇六六	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	
同三十年	二,五三三,九九二	五,〇〇三,三三三	一,〇六六	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	
同三十一年	二,五三三,九九二	五,〇〇三,三三三	一,〇六六	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	
同三十二年	二,五三三,九九二	五,〇〇三,三三三	一,〇六六	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	
同三十三年	二,五三三,九九二	五,〇〇三,三三三	一,〇六六	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	
同三十四年	二,五三三,九九二	五,〇〇三,三三三	一,〇六六	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	
同三十五年	二,五三三,九九二	五,〇〇三,三三三	一,〇六六	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	一,一〇三	

海外各出張所取引高

第九表

同十五年	同十六年	同十七年	同十八年	同十九年	同二十年	同二十一年	同二十二年	同二十三年	同二十四年	同二十五年	同二十六年	同二十七年	同二十八年	同二十九年	同三十年	同三十一年	同三十二年
一九九、九五五	三三八、〇二八	一、〇三三、三〇四	一、〇三三、三〇四	三、〇〇、〇七八	二、〇二、〇七六	二、八四、八六五	二、六六、八四二	五、〇、五六二	七、五〇、四九九	八、八四、四三七	一、三〇、五五二	三、二、三九九	三、三、九〇一	五、〇、四二二	三、三、八四三	二、七、七四八	二、八、三五九
七〇二九	一〇、六三三	一、〇三三、三〇四	一、〇三三、三〇四	七、七、七七八	一、〇一、〇七六	一、七二、九三五	一、八六、七七一	九〇、二、五三三	五、七、三七二	一、六〇、六七七	二、六〇、六七七	一、二、三〇、一三五	一、六、二〇、八三三	五、七、六九九	九、七、七二八	一、六、一、八五六	一、五〇、三五五
一八、三五九	八九、二、五三四	三二、一、五九九	三、九、三五六	二、九、二、五三七	三、〇、三三八	三、九、二、五三七	三、九、二、五三七	六、九〇、七、九九三	三、一、九六、七四二	一、〇〇、六二二	九、八、五三五	三、二、二八、七三九	七、二、九二六	六、九、〇八、二五九	二、六、四、七九〇	一、〇、四、一五七	一、〇、七、四一八
一九、二、三九〇	一九、二、三九〇	一九、二、三九〇	一九、二、三九〇	一九、二、三九〇	一九、二、三九〇	一九、二、三九〇	一九、二、三九〇	一九、二、三九〇	一九、二、三九〇	一九、二、三九〇	一九、二、三九〇	一九、二、三九〇	一九、二、三九〇	一九、二、三九〇	一九、二、三九〇	一九、二、三九〇	一九、二、三九〇

備考

同三十二年	同三十一年	同三十年	同二十九年	同二十八年	同二十七年	同二十六年	同二十五年	同二十四年	同二十三年	同二十二年	同二十一年	同二十年	同十九年	同十八年	同十七年	同十六年	同十五年
一九、二、三九〇	一七、二、七四七	三三、八四三	五〇、四二二	二七、九〇一	二二、三九九	二二、三九九	一三、〇、五五二	八、八四、四三七	七、五〇、四九九	五、〇、五六二	一、六六、八四二	一、三〇、五五二	三、二、三九九	三、三、九〇一	三、三、八四三	三、三、八四三	三、三、八四三
一〇、七、四一八	一〇、七、四一八	一〇、七、四一八	一〇、七、四一八	一〇、七、四一八	一〇、七、四一八	一〇、七、四一八	一〇、七、四一八	一〇、七、四一八	一〇、七、四一八	一〇、七、四一八	一〇、七、四一八	一〇、七、四一八	一〇、七、四一八	一〇、七、四一八	一〇、七、四一八	一〇、七、四一八	一〇、七、四一八

本表二十一年以降ノ各勘定ハ外國貨幣ヲ比較上便宜ノ爲メ平均爲替相場ヲ以テ我銀貨ニ換算シタルモノナリ
 十八年以前ハ舊倫敦出所ノ分ヲモ含ム
 諸預金ハ定期當座別段預金等一年間ノ累計ヲ示ス以下同シ
 爲替ハ正金銀行ノ振出シ高ヲ計上セリ但内國手形トハ内國各地ニ向ヒ又外國手形トハ海外支店各出張所及爲替約定店ニ向ヒ振出シタル高ナリ
 割引手形ハ正金銀行ノ割引高ヲ掲載セリ但内國手形トハ内地ニ於テ取立ヘキ手形又外國手形トハ海外各店ニ於テ取立ヘキ手形ノ割引高ナリ
 代金取立手形ハ取立ヲ委託サレタル種類ナリ但内外手形ノ區別ハ割引手形ニ同シ
 右各勘定ハ政府ニ對スル一切ノ勘定ハ之ヲ除キ總テ人民ニ對スル普通ノ勘定ヲ示ス

正金銀行創立以來利益割合

第十表

備考

- 一 資本金百圓ニ對スル制賦割合中政府ノ額十八年以降ハ内藏頭ナリ
- 一 明治三十年上半期ニ特別配當金百五十拾萬圓アリ
- 一 明治三十年下半期ニ特別配當金三百萬圓アリ

第六款 營業ニ關スル雜件

以上各款ニ於テ述ヘタルモノ、外橫濱正金銀行ノ取扱ヘル事業ニシテ臨時特殊ノ取扱ニ屬セルモノアリ故ニ本款ニ於テハ此等營業ニ關スル雜件數項ヲ左ニ摘載スヘシ

一 流通不便ノ貨幣並ニ古金銀貨幣ノ交換ハ從來東京大阪ニ於テハ第一國立銀行及三井銀行等ニ於テ取扱ヒ來リシカ明治十三年四月ヨリ正金銀行モ亦神奈川縣ノ許可ヲ得テ之ヲ取扱フコト、ナレリ然ルニ市場ノ相場ハ動モスレハ交換價格ノ右ニ出ツルヨリ交換ヲ請フ者自然僅少ナルノミナラス直接交換ハ人民ニ於テ手數ヲ厭フノ事情アルニ依リ明治十八年一月以後ハ正金銀行ニ於テ時價ヲ以テ買上方ヲ命シ爾來同行ハ其事務ニ從事ス但手數料ハ買入代金ノ千分ノ一ヲ給與セリ

二 明治十三年六月正金銀行ハ神戸支店ヲ開設セルニヨリ從來出納局ト大阪支局トノ間ニ現送シ來リシ貿易畫圖銀貨爲替御用ヲ取扱ハン事ヲ上請シ其認可ヲ得テ同年九月ヨリ其事ニ從ヘリ但シ其手數料ハ千分ノ二ナリトス

三 明治十七年三月以降正金銀行ハ海外ヘ金銀ノ流出スルヲ防制スル爲メ政府ノ命ヲ承ケ金

貨ノ購收ニ從事シ別ニ手數料ヲ領收セサリシカ同十九年四月ヨリ金高千分ノ一ヲ手數料トシテ受クル事トナレリ而シテ正金銀行カ明治十七年三月一日ヨリ同十九年九月二十日迄ニ購收シタル金貨ハ貳百七拾壹萬八千四百拾四圓ノ巨額ニ上リタリ

四 明治二十五年八月ヨリ正金銀行ハ政府ノ認可ヲ得テ布哇出張所ニ於テ同國出稼人ノ預リ金及ヒ送金ノ事ヲ取扱ヘリ其手續ハ左ノ如シ

布哇出稼金預金送金取扱手續

- 一 橫濱正金銀行ハ布哇國ホノル、府ニ於ケル我出稼人ノ預ケ金ヲ受クヘシ
- 一 橫濱正金銀行ハ布哇國各耕地屋主ヨリ出稼人ノ爲メニ拂込タル金額ニ對シテハ直チニ領收證ヲ發シ且ツ毎年未ニ至リ預リ金元利計算書ヲ製シ之ヲ各出稼人ニ發送スヘシ
- 一 出稼人ヨリ橫濱正金銀行ヘ預ケ入ルヘキ金額ハ一口金五圓以上ニ限ルモノトス
- 一 出稼人預ケ金ニ對スル利子ハ年四朱ト定メ六月十二月ノ兩度ニ計算シ之ヲ各預ケ人ヘ拂モ渡スヘシ
- 一 預リ金利子ノ計算ハ布哇國ニ於テ金員領收後六十日目ヨリ起算シ預リ金拂戻ノ前日迄日割勘定ヲ以テスヘシ
- 一 預リ金ハ時々ノ爲替相場ニ據リ之ヲ本邦通貨ニ換算シ橫濱本店ニ於テ預リ置キ之カ支拂モ同本店ニ於テ本邦通貨ヲ以テスルモノトス
- 一 布哇國ニ於テ日本總領事館ヨリ又ハ同館ノ證明ヲ經テ出稼人ヨリ預ケ金拂戻ヲ請求スルト同國地ニ於テ銀替支拂ヲ爲スヘシ

銀行 第三章 橫濱正金銀行

但本文ノ場合ニ於テハ本邦ニ於ケル通貨ノ預リ高ヲ布哇國金貨ニ概算シテ之カ支拂ヲ爲シ追テ本邦ニ於テ元利金過不足ノ精算ヲナスモノトス

一 預リ金ヲ本邦へ回送スル手續ハ橫濱正金銀行ノ適宜タルヘシ尤モ之レヲ本邦通貨ニ換算スルニハ布哇ヨリ報告到著當日ノ橫濱ニ於ケル爲替相場ヲ以テスヘシ

一 出稼人ヨリ各郷里へ送金ノ取扱ハ橫濱正金銀行ノ便宜ニ據ルト雖モ可成丈ケ從來ノ慣例ニ從ヒ速達スルコトヲ務ムヘシ

一 統計其他ノ料ニ供スル爲メ總領事館ヨリ人員金額等ノ報告ヲ請求スルトキハ出張所ニ於テハ滯ナク其需ニ應スヘシ

以上ハ橫濱正金銀行ノ創立以來明治三十五年ニ至ル沿革ノ概要ヲ記述セルニ止マル猶ホ同行ニ關スル詳細ノ事項ニ至リテハ準備金國債日本銀行等ノ部ヲ參照スルヲ要ス

明治財政史第十三卷終

明治三十八年二月十八日印刷
 明治三十八年二月廿一日發刊

明治財政史第十三卷終
 正價一部十五冊
 金參拾五圓



著作者

明治財政史編纂會

右代表者

阪谷芳郎
東京市小石川區原町百二十六番地

發行者

丸善株式會社
東京市日本橋區通三丁目十四番地

右代表者
專務取締役

小柳津要人

印刷者

高橋金四郎
東京市日本橋區兜町二番地

印刷所

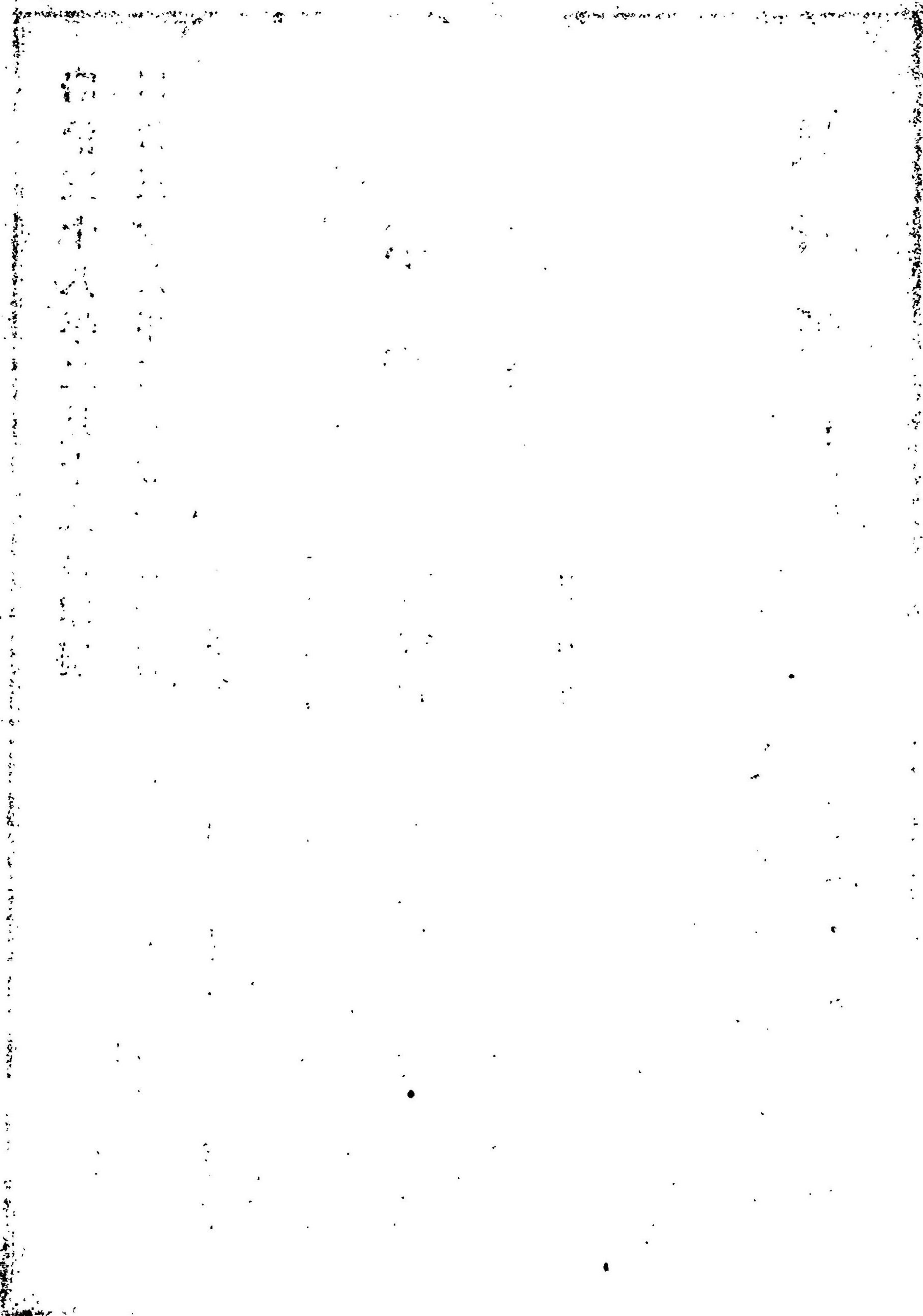
東京印刷株式會社
東京市日本橋區兜町二番地

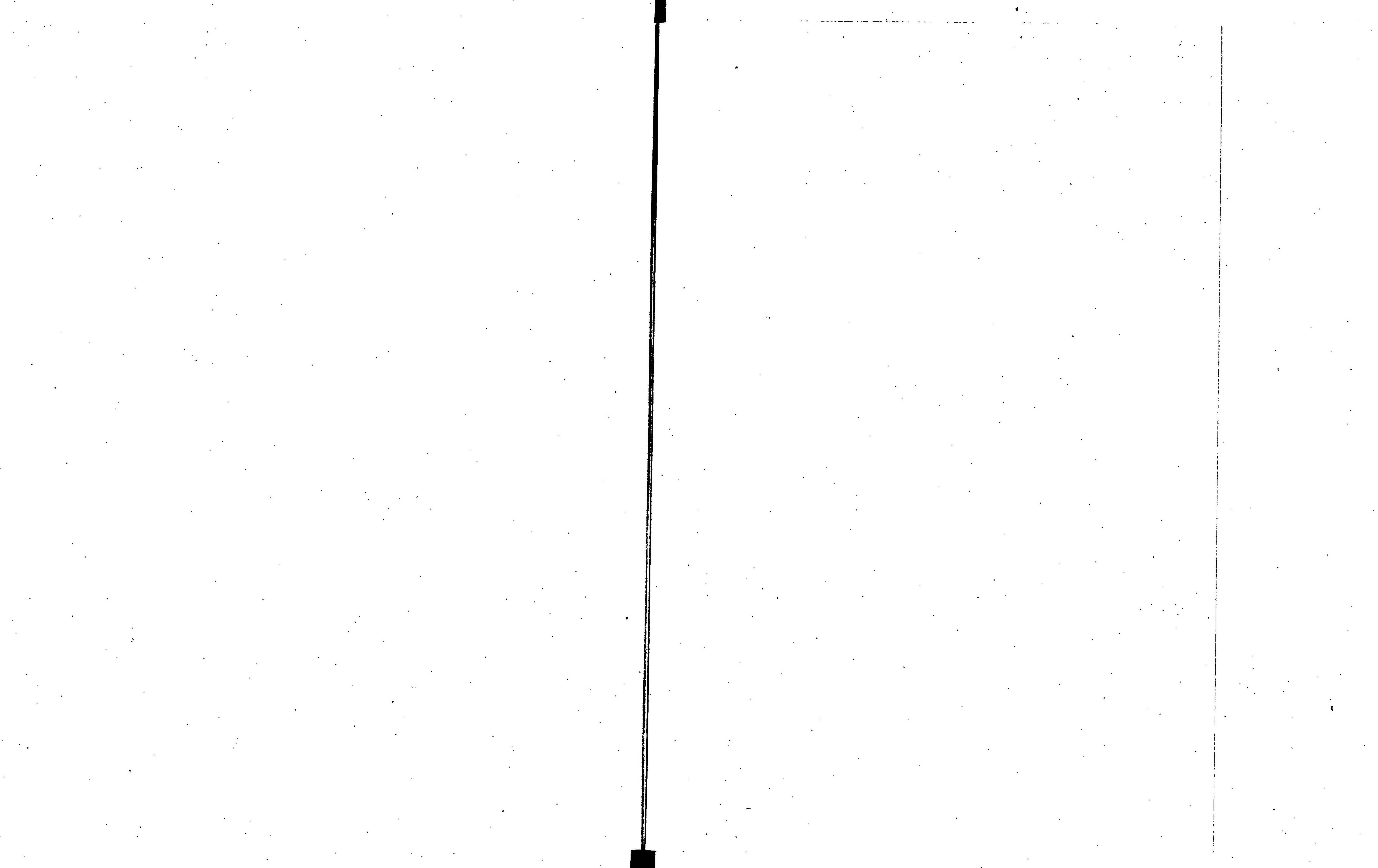
發行所

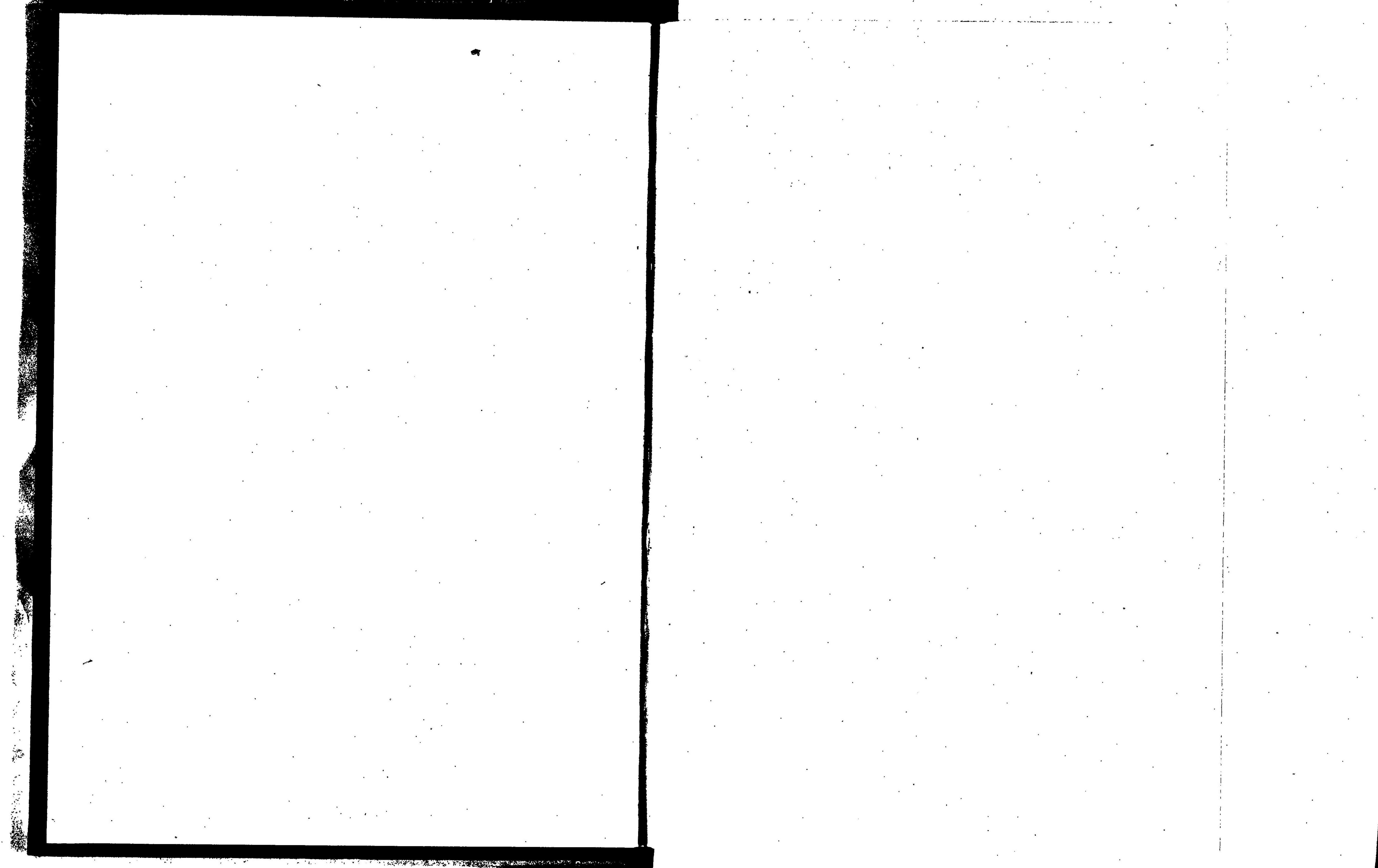
東京市日本橋區
 通三丁目
 大阪市中心區
 博愛町四丁目

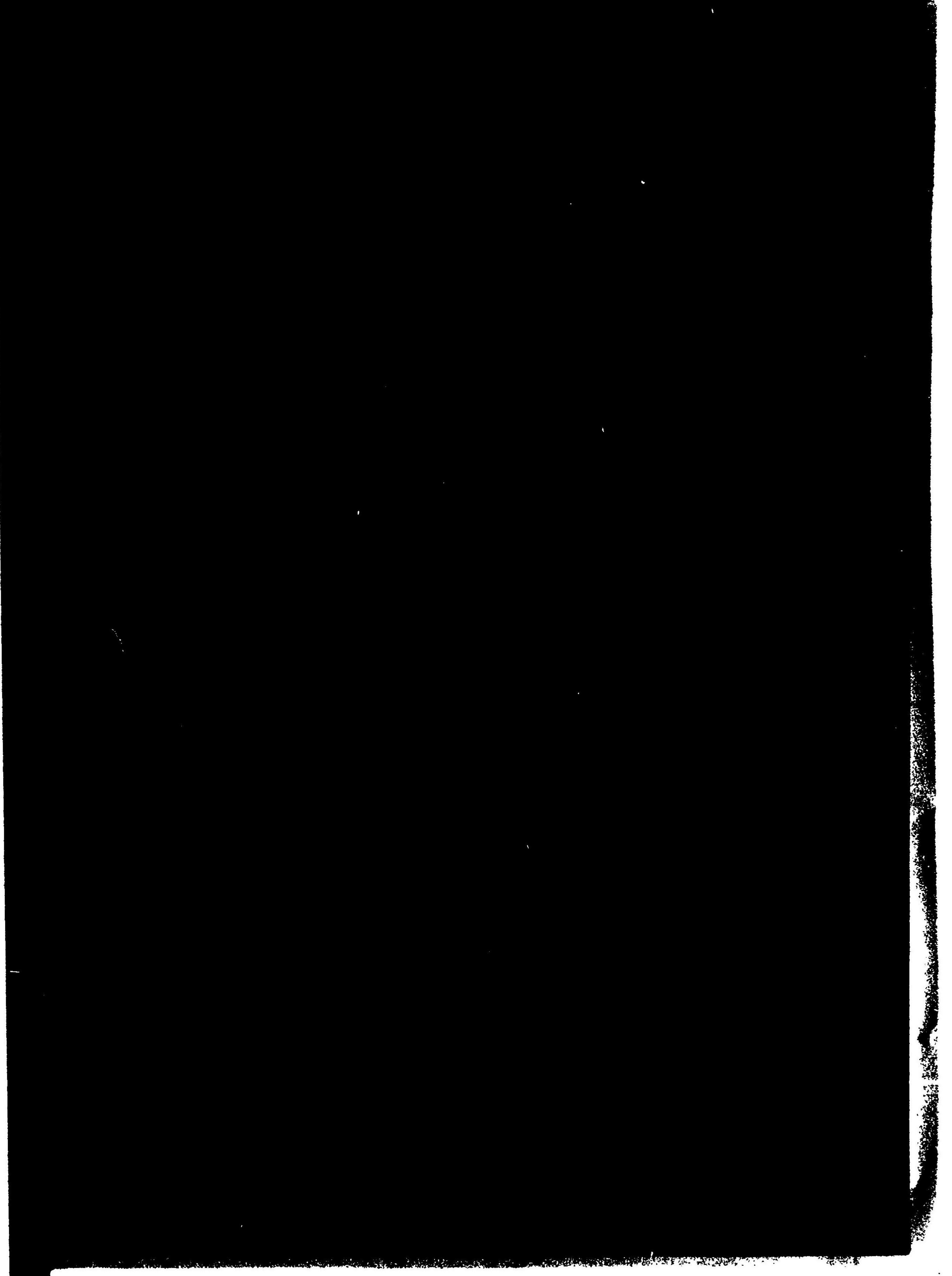
丸善株式會社
 丸善株式會社支店

011









342. 1

M448

M